奥能登国際芸術祭 2020＋
総括報告書

奥能登国際芸術祭実行委員会

「奥能登国際芸術祭 2020＋」総括報告書　目次

はじめに　p.3
1　開催概要について　p.5
1　開催概要
2　開催結果に対する検証
2-(1)会期中の来場者数について
2-(1)-①作品来場者数　p.7
2-(1)-②イベント来場者数　p.10
2-(2)財政面における検証
2-(2)-①作品鑑賞パスポート等の販売状況　p.11
2-(2)-②寄付金・協賛金について　p.13
2-(2)-③助成金・補助金について　p.15
2-(2)-④収支の状況（実行委員会会計）　p.15
2-(3)運営体制における検証
2-(3)-①実行委員会体制　p.17
2-(3)-②事務局体制　p.18
2-(3)-③行政職員等の連携　p.18
2-(3)-④関係機関との連携推進　p.19
2-(3)-⑤サポーター・ボランティアや地域住民との協働　p.19
2-(4)個々の取り組みの検証
2-(4)-①案内体制　p.24
2-(4)-②交通システム　p.27
2-(4)-③受け入れ・もてなし　p.32
2-(4)-④広報・宣伝の取り組みについて　p.45
3　その他
3-(1) 誘客促進の取組みについて　p.55
3-(2)さいはてのキャバレー貸館事業　p.57
3-(3) 新型コロナ感染防止対策について　p.58
4　開催効果にかかる検証
4-(1) 効果把握の視点　p.63
4-(2) 開催効果の整理と分析　p.63
4-(3) 4年間の経済効果・波及効果のまとめ　p.66
4-(4) 移住者の推移　p.66

5　常設作品及び今後の事業展開等について　p.69

6　次回にむけて　p.71

■資料編

・奥能登国際芸術祭実行委員会組織図

・奥能登国際芸術祭実行委員及び事務局名簿（令和 3 年 10 月 1 日現在）

・芸術祭のあゆみ（2018 年度-2021 年度）

・「奥能登国際芸術祭 2020＋」作品一覧

・開催結果の概要

はじめに

第2回目の開催となった「奥能登国際芸術祭 2020＋」は、新型コロナの影響により、1年延期となりましたが、2021（令和 3）年 9 月 4 日に開幕し、当初会期より 12 日間の延長を経て 11 月 5 日までの 63 日間、珠洲市内 46 の会場で開催しました。

コロナ禍での開催ということもあり、市民の皆様はもとより、作品鑑賞にお越しいただいた方々に安心してご覧いただけるよう、マスクの着用、手指消毒、3密の回避など基本的なコロナ対策をはじめ、市内各所に設けました「検温スポット」においては、体温測定、問診、リストバンドの着用を呼びかけ、コロナ感染症対策を徹底し運営してまいりました。

おかげをもちまして、会期中は新型コロナに感染された方が誰一人なく無事閉幕を迎えることができましたことは、来場者の皆様のご協力があってのことと感謝致しているところでございます。

また、感染リスクの低減を図るため、市外、特に県外からのボランティアサポーターの募集を控えざるを得ず、会場準備、作品制作、会期中の受付など、市民の皆様や、関係機関の皆様からご協力を得て運営を行うこととなり、文字どおり「市民 14,000 人とつくりあげた芸術祭」であったと感じています。

2017 年の秋に初めて開催された奥能登国際芸術祭は、日本の“さいはて”から最先端の文化を創造する試みとして、国内外から大きな注目を集めることとなりました。参加アーティストの皆様には、市内それぞれの地域の歴史や文化、特徴をアートで表現していただき、これまで思うように伝えることができなかった珠洲市の魅力や潜在力を、アートを通して遠く広く伝えることができました。

今回は、53 組のアーティストにご参加いただき、芸術祭の核ともなる「スズ・シアター・ミュージアム」が整備され、さらに芸術祭の魅力や情報発信力に厚みが増したことにより、今後の本市の移住・定住、誘客に大きな役割を果たす財産になったものと確信しております。

本報告書は、「奥能登国際芸術祭 2020＋」を振り返り、その概要を取りまとめるとともに、その成果と課題を明らかにし、今後の地域活性化に向けて一つの指針とすることを目的に編集し、関係者に提示するものであります。

なお、本報告書の作成にあたっては、既存資料やこれまでの各種事業の実績報告のほか、開催にご協力いただいた各関係機関、奥能登国際芸術祭の総合ディレクション業務等の委託先である（株）アートフロントギャラリーからの提供情報や意見を基に取りまとめたものであります。

また、成果の検証のため実施した「来場者アンケート」、会期後に実施した「市民アンケート」の結果と、そこから導き出される経済波及効果にかかる各種データ等についても、検討・検証材料として記載したところであります。

このほか、本芸術祭に関わっていただいた多くの方々から、今回の芸術祭について多種多様かつ貴重なご意見等を数多く頂戴し、検証作業における参考とさせていただきました。「奥能登国際芸術祭 2020＋」の開催に関わっていただいた多くの方々、そして本報告書の制作にご協力いただいた関係各位に、ここにあらためて深く感謝の意を表するものであります。

2022 年 3 月

奥能登国際芸術祭実行委員会

１　開催概要について

１-(1) 開催概要

2019 年度末、新型コロナウイルス（COVID-19）が世界中に感染拡大。2020 年には、日本にも拡大したことから国も対策を講じることとなる。感染拡大防止の観点から国の緊急事態宣言が発出されたことにより、県境をまたぐ移動制限、大人数でのイベントの自粛、テレワークの導入など社会生活に多大な影響を及ぼすこととなった。

奥能登国際芸術祭（以下、「芸術祭」という。）においても、その影響を受け、2020 年 5 月に開催された総会において、コロナの収束の見通しが立たない状況であることからやむを得ず１年間の延期を決定した。

2021 年に入り、依然として収束の目途はたたないものの、県内でもいち早くワクチン接種が開始されたにより、市内感染が一定程度抑えられている状況であることから、感染状況を注視しながら検温スポットの設置など感染症防止対策を万全に講じたうえで開催することを決定した。

名称も、2020 に「＋」を追加し、開催年が１年増えるという意味だけではなく、準備期間の延長をプラスと捉え、当初予定していた芸術祭にさらなる魅力を加える「＋」、コロナ禍によって生まれた新たな生活様式とそれに対応する新たな芸術祭スタイルの創造によって、来場者への徹底した安全とより多様な楽しみ方を提供する「＋」という意味を込め、新たに 2021 年秋の開催に向け始動した。

奥能登国際芸術祭 2020＋
～最涯の芸術祭、美術の最先端。～

会　　期　　2021 年 9 月 4 日（土）～11 月 5 日（金）　63 日間
会　　場　　石川県珠洲市全域　247.20 ㎢
参加作家　　16 の国と地域から 53 組　46 作品
主　　催　　奥能登国際芸術祭実行委員会
実行委員長　　：泉谷　満寿裕（珠洲市長）
総合ディレクター　：北川フラム（アートディレクター）

１－(2)　開催までの主な経緯

＜2017 年度＞

2017 年 9 月

　　～10 月　**「奥能登国際芸術祭 2017」開催（9/3～10/22　50 日間）**

＜2018 年度＞

2018 年 6 月　奥能登国際芸術祭実行委員会平成 30 年度第 1 回総会

⇒「奥能登国際芸術祭 2020」開催を決定

2019 年 3 月　金沢 21 世紀美術館、金沢美術工芸大学と連携・協力協定を締結

3 月　奥能登国際芸術祭実行委員会平成 30 年度第 2 回総会

⇒「奥能登国際芸術祭 2020」会期を決定（2020 年 9 月 5 日～10 月 25 日）

＜2019 年度＞

2019 年 4 月　珠洲市奥能登国際芸術祭推進室を設置

奥能登国際芸術祭実行委員会の運営を開始

2020 年 3 月　市民 14,000 人でつくる「奥能登国際芸術祭 2020」プロジェクト発表会

＜2020 年度＞

2020 年 5 月　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 1 回総会

⇒　会期 1 年延期を決定（会期：2021 年 9 月 4 日～10 月 24 日）

9 月　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 2 回総会

⇒　名称を「奥能登国際芸術祭 2020＋」に変更及び新ロゴを発表

2021 年 3 月　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 3 回総会

⇒　コロナ対策概要を発表

＜2021 年度＞

2021 年 7 月　「奥能登国際芸術祭 2020＋」企画発表会　※オンラインで全国配信

「スズ・シアター・ミュージアム」設立シンポジウム開催

「奥能登国際芸術祭 2020＋」作品鑑賞パスポートの発売を開始

8 月　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 4 回役員会

⇒　コロナの状況を踏まえた開催方針及び木曜休館を決定

奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 5 回役員会

⇒　作品の限定公開（9 月 4 日～9 月 12 日）及び

パスポートの前売り期間の延長を決定（～9 月 30 日）

9 月　「奥能登国際芸術祭 2020＋」開幕

9 月　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 6 回役員会

⇒　作品の限定公開延長を決定（～9 月 30 日）

奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 7 回役員会

⇒　会期の延長を決定（～11 月 5 日）

11 月　「奥能登国際芸術祭 2020＋」閉幕

２　開催結果に対する検証

２－(1)　会期中の来場者数について

２－(1)－①　作品来場者数

今回の会期中における合計来場者数は、以下のとおり 48,973 人となった。

開幕時は県内でまん延防止等重点措置の適用期間であったため、措置が解除される 9 月 30 日までの間は、ミュージアムと屋外作品を中心に一部公開を制限してスタート。措置解除後の 10 月 1 日以降は全作品を公開した。

ⅰ.期間別来場者数

期　間		来場者数
全期間来場者数（9 月 4 日～11 月 5 日）		48,973 人（平均 777 人/日）
	限定公開期　（9 月 4 日～9 月 30 日）	11,030 人（平均 409 人/日）
	全公開期　　（10 月 1 日～11 月 5 日）	37,943 人（平均 1,054 人/日）
日最大来場者数　（10 月 24 日（日））		2,654 人
週末最大来場者数（10 月 23～24 日）		4,898 人

※作品来場者数について

会期中、新型コロナウイルス感染症対策のため、市内 5 か所に設置された検温スポットで当日の検温や問診を受け、リストバンドを着用の上、作品鑑賞をお願いした。来場者数は、リストバンドの番号登録数（リストバンド配布数）である。

ⅱ.検温スポット別来場者数

検温スポット	来場者数
スズ・シアター・ミュージアム	16,002 人
旧粟津保育所	582 人
道の駅すずなり	10,501 人
さいはてのキャバレー	14,602 人
旧鵜飼駅	7,268 人
合計	48,973 人

※スズ・シアター・ミュージアム、さいはてのキャバレーは 9/4～開設

※道の駅すずなり、旧鵜飼駅は 10/1～開設

※旧粟津保育所は 10/5～開設

ⅲ.来場者の構成

来場者の構成は以のとおり

※ツアー・団体、未回答を除いた数字

（性別）

男性	女性	その他
19,470 人	26,249 人	178 人
42.4%	57.2%	0.4%

（回答者数:45,897 人）

（年代別）

10 代未満	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
1,847 人	2,203 人	6,440 人	6,980 人	8,392 人	8,214 人	6,897 人	4,927 人
4.0%	4.8%	14.0%	15.2%	18.3%	17.9%	15.0%	10.8%

（回答者数:45,900 人）

（居住地別）

市内	県内	県外	海外
7,936 人	30,341 人	7,604 人	18 人
17.3%	66.1%	17.6%	0.0%

（回答者数:45,899 人）

（県内の内訳）

能登地区	金沢地区	加賀地区
8,712 人	16,761 人	4,868 人
28.7%	55.3%	16.0%

（回答者数:30,341 人）

（県外の内訳）

北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州
41 人	70 人	2,855 人	3,367 人	1,059 人	159 人	53 人
0.5%	0.9%	37.6%	44.3%	13.9%	2.1%	0.7%

（回答者数:7,604 人）

居住地別のうち県内では、金沢市が 14,734（48.6%）と半数を占める。

地域別のうち都道府県では、富山県 1,862 人（24.5%）、東京都 1,854 人（24.4%）と合せて約半数を占める。

ⅳ．作品会場別鑑賞者数（有人受付のみ）　（単位：のべ人）

	№	会場	作家名	鑑賞者数
大谷	1	旧清水保育所	塩田千春	12,712
	2	スズ・シアター・ミュージアム	南条嘉毅ほか	21,885
日置	5	木ノ浦ビレッジ	蓮沼昌宏	7,754
	8	旧日置公民館	さわひらき	7,892
三崎	10	旧粟津保育所	カールステン・ニコライ	10,594
	12	旧小泊保育所	山本基	12,635
蛸島	14	珠洲焼資料館	カン・タムラ	7,390
	16	旧高砂湯	青木野枝	7,596
	17	旧島崎家	田中信行	11,027
正院	19	旧漁具倉庫	デイヴィッド・スプリグス	12,731
	22	旧大工倉庫	盛圭太	8,559
	24	スズズカ（旧飯塚保育所）	ひびのこづえ	8,456
直	26	本江寺の倉庫	尾花賢一	7,781
飯田	30	旧八木家	金沢美術工芸大学アートプロジェクトチーム［スズプロ］	9,508
	31	スズ交通待合所２階	中谷ミチコ	7,142
	33	さいはてのキャバレー	浅葉克己	20,866
上戸	35	北方の倉庫	石川直樹	6,701
宝立	39	旧鵜飼駅	ディラン・カク	11,313
	40	旧柏原保育所	チェン・シー	4,948
若山	43	旧上黒丸小中学校	チーム KAMIKURO	6,644

合計（のべ人数）	204,134 人

※鑑賞者数について

各作品会場（有人受付）でリストバンドを受付した数字を計上。

２-(1)-②　イベント鑑賞者数

会期中、各会場においては作品展示のほか、芸術祭主催・共催イベント等もあわせて開催された。その主な鑑賞者数については、以下のとおり合計 862 人となった。

イベント来場者数

イベント名	鑑賞者数
ひびのこづえ×スズズカ 2021 「Come and Go」＠ラポルトすず（中庭） （9 月 11、12 日、10 月 9、10 日）5 ステージ 「Piece to Peace」＠スズズカ （10 月 9 日、10 日）2 ステージ　　計 7 ステージ	652 人
奥能登国際芸術祭 2020＋記念公演 和泉流宗家 incl.三宅藤九郎による「寿受狂言の会」 （10 月 8 日）＠ラポルトすず	210 人
合　計	862 人

２－(2)　財政面における検証

２－(2)－①　作品鑑賞パスポート等の販売状況

今回の芸術祭では、「一般」・「大学生」・「小中高生」の3つの券種に分け作品鑑賞パスポートを発行・販売した。市内では、道の駅、郵便局など主要な施設で購入できるよう行った。

市外・県外の方へは、紙媒体の他に、電子パスポート「ART　PASS」での販売や、各種コンビニ、プレイガイドなどで購入できるよう取り組みを行った。

また、会期中は作品鑑賞パスポートを持たない来場者向けに、各会場において個別鑑賞券の発行・販売も行った。

ｉ．作品鑑賞パスポート販売状況

	一般	大学生	小中高生	合　計
	前売 2,500 円 当日 3,000 円	前売 1,000 円 当日 1,200 円	前売 300 円 当日 500 円	
前売券	14,248 冊	443 冊	1,676 冊	16,367 冊
	35,503,000 円	442,300 円	496,800 円	36,442,100 円
（うち	(625 冊)	(53 冊)	(31 冊)	(709 冊)
ART PASS)	(1,562,500 円)	(53,000 円)	(9,300 円)	(1,624,800 円)
当日券	5,499 冊	497 冊	632 冊	6,628 冊
	16,313,400 円	594,300 円	312,000 円	17,219,700 円
（うち	(383 冊)	(46 冊)	(28 冊)	(457 冊)
ART PASS)	(1,149,000 円)	(55,200 円)	(14,000 円)	(1,218,200 円)
合　計	19,747 冊	940 冊	2,308 冊	22,995 冊
	51,816,400 円	1,036,600 円	808,800 円	53,661,800 円
（うち	(1,008 冊)	(99 冊)	(59 冊)	(1,166 冊)
ART PASS)	(2,711,500 円)	(108,200 円)	(23,300 円)	(2,843,000 円)

※パスポートは、2021 年 7 月 15 日から販売開始。コロナの影響もあり、作品公開を制限したことから、前売り販売期間は、当初の 9 月 3 日から 9 月 30 日まで期間を延長した。

※委託販売については、販売手数料 10%をお支払い

ⅱ． 個別鑑賞券販売状況

（各作品）

券種		枚数	金額
一般・大学生	（300 円）	11, 970 枚	3, 591, 00 円
小中高生	（200 円）	367 枚	73, 400 円
一般・大学生再入場	（150 円）	1, 029 枚	154, 350 円
小中高生再入場	（100 円）	60 枚	6, 000 円
合　計		13, 426 枚	3, 824, 750 円

（スズ・シアター・ミュージアム）

券種		枚数	金額
一般	（800 円）	4, 791 枚	3, 832, 800 円
大学生	（600 円）	43 枚	25, 800 円
小中高生	（400 円）	135 枚	54, 000 円
一般再入場	（400 円）	620 枚	248, 000 円
大学生再入場	（300 円）	24 枚	7, 200 円
小中高生再入場	（200 円）	38 枚	7, 600 円
団体 一般	（700 円）	11 枚	7, 700 円
団体　小中高生	（300 円）	33 枚	9, 900 円
合　計		5, 695 枚	4, 193, 000 円

個別鑑賞券　合計	19, 121 枚	8, 017, 750 円

ⅲ.入館料の合計金額

作品鑑賞パスポート	個別鑑賞券	合計
53, 661, 800 円	8, 017, 750 円	61,679,550 円

▲パスポート（左から、一般、大学生、小中高生）

▲個別鑑賞券

【成果と課題】

●コロナ対応によって、前半は一部公開となったり、前売り期間を延長したり、前回にはない対応をせまられたことから一貫性のある販売戦略を立てることができなかった。
収入も当初計画（コロナ前）の約 70%と収支上は厳しい状況となった。
（行政側の負担金、ふるさと納税である程度はカバーできた。）

●コロナ禍前の当初計画での販売目標冊数は 3.2 万冊であり、会期前半は公開作品を限定するなど、コロナ禍の開催においては販売数についてはやむを得ないと考える。

当初目標　32,000 冊 × 2,500 円/平均＝　80,000 千円
実績　　22,995 冊 × 2,334 円/平均＝　53,662 千円
冊数は 71.9%　販売額は 67.1%

●パスポートのデザインは、前回同様に実際の入国パスポート（渡航旅券）を意識したデザインし、内容もスタンプラリー形式でその「見やすさ」や「使いやすさ」から、購入者にも好評であった。

●今回新たに電子パスポート「ART PASS」を導入した。利用者は全体の約 5%と利用率は少なかったものの、コロナ禍での非接触といったことや決済の煩わしさの点では有効であったととらえる。
また、スマートフォンだけで手軽に巡ることができるといった点では、今後は利用率が増えることが予想されることから、電子決済等での対策を強化していくことが必要と感じた。

●パスポートについては、特に公開を制限した前半では、パスポートの必要性が理解されておらず、作品が見られないのであれば返金を求める購入者もおり、説明に苦慮した。
（特に、市外・県外の購入者にはご不便をおかけした。）

●基本的に市内一円に存在する作品は有料であり（運営上の観点等から受付が設置されておらず、料金徴収ができない箇所もあるが）、鑑賞のためにはパスポートが必要となることを事前に十分説明しておく必要があった。

●市外での購入者開拓においては営業へ行けない状況であった面は否めない。狙いとする所やニーズのある所へと販売網を広げていくことができるよう、今回の営業活動で培ったネットワークと経験を今後に生かしていく必要性を痛感した。

２－⑵－②　寄付金・協賛金について

寄付金・協賛金については、2019 年から公式ホームページに情報を掲載するなど、市内外に向け広く募集を行った。コロナの影響により、移動制限等で積極的に営業活動もできない状況であったが、多くの寄付・協賛が寄せられた。

また、ふるさと納税に関しては、企業版ふるさと納税が 2020 年度から創設され、税制面での優遇が拡充されたことにより、さらに活用しやすくなったことからも、市外の

法人へは企業版を活用していただくようお願いした。

ⅰ. 寄付・協賛（実行委員会へ直接寄付いただいたもの）

	寄付		協賛		役務提供		合計	
2019 年度	2	20, 000	4	1, 450, 000	―	―	6	1, 470, 000
2020 年度	4	260, 000	1	1, 000, 000	1	340, 000	5	1, 260, 000
2021 年度	4	130, 000	12	6, 650, 000	2	6, 500, 000	16	6, 780, 000
計	10	410, 000	17	9, 100, 000	3	6, 840, 000	27	9, 510, 000

ⅱ. ふるさと納税（珠洲市へ寄付）

	個人		企業版		合計	
2019 年度	630	10, 550, 000	―	―	630	10, 550, 000
2020 年度	1, 106	15, 650, 000	5	5, 000, 000	1, 111	20, 650, 000
2021 年度	579	11, 950, 000	8	25, 289, 905	587	37, 239, 905
計	2, 315	38, 150, 000	13	30, 289, 905	2, 328	68, 439, 905

※ふるさと納税のうち寄附金の使途を「芸術祭」へ希望したもの。

２－⑵－③　助成金・補助金について

奥能登国際芸術祭の開催に向け、2018 年度から 2021 年度の 4 年間において、珠洲市及び奥能登国際芸術祭実行委員会等が交付を受けた助成金・補助金については、以下のとおりである。

（珠洲市分）　（単位：千円）

助成金・補助金など	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	合計
地方創成推進交付金・臨時交付金（内閣府）	－	18,500	32,000	8,487	58,987
文化芸術振興費補助金（文化庁）	10,841	4,376	－	20,746	35,963
地域の文化・芸術活動助成（一般財団法人地域創造）	－	－	－	10,000	10,000
合　計	10,841	22,876	32,000	39,233	99,218

（実行委員会分）　（単位：千円）

助成金・補助金など	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	合計
日本芸術文化振興会補助金（独立行政法人日本芸術文化振興会）	－	－	418	－	418
アートによる地域振興助成（公益財団法人福武財団）	－	－	－	1,500	1,500
合　計	－	－	418	1,500	1,918

２－⑵－④　収支の状況（奥能登国際芸術祭実行委員会会計）

奥能登国際芸術祭の開催に要した実行委員会予算については、2018 年度から 2021 年度までの 4 年間で 497,740 千円であり、収入の中で大きな割合を占めるのは珠洲市からの負担金である。その原資となったのは珠洲市地域振興基金であり、負担金として開催準備事業や PR をはじめとした開催推進事業に充当されたほか、作品会場整備も含めた開催運営費などに対しても充当が成されてきた。また、こうした市負担金が実質上、実行委員会会計における運転資金としての役割を果たしているのが実態であり、各年度末には収支を精算の上、残余の金額については市会計へ戻し入れしている。

■歳入　（単位：千円）

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	合計
珠洲市負担金	36,966	57,451	134,320	166,469	395,206
珠洲商工会議所負担金	500	500	500	1,000	2,500
寄附・協賛金	0	1,470	1,260	6,780	9,510
その他助成金・補助金	0	0	1,390	3,422	4,812
事業収入	5,167	2,714	972	72,934	81,787
雑入	1,897	806	730	492	3,925
合計	44,530	62,941	139,172	251,097	497,740

■歳出　（単位：千円）

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	合計
地域活性化推進事業費	15,654	14,453	551	14,611	45,269
奥能登国際芸術祭推進事業費	9,432	16,865	12,648	22,926	61,871
奥能登国際芸術祭 2020 開催事業費	11,354	23,644	119,887	197,075	351,960
事務局総務費	8,090	7,979	6,086	14,485	38,640
合計	44,530	62,941	139,172	251,097	497,740

２－(3)　運営体制における検証

２－(3)－①　実行委員会体制

開催に向けて具体的に取り組みを進めるにあたり、よりスピーディーな意思決定と機動的な事業実施を求める観点から、議決機関たる「実行委員会」については定員 30 名を上限とし、このほか、趣旨に賛同する「会員」がそれぞれ専門分野である「地域」「議員」「産業」「学術文化」「観光」の５つの「部会」に分かれて所属・登録する形とした。これにより、市内各界・各分野における各種団体等のリーダーが実行委員に就任していただくこととなった。

実行委員会では、各年度における総会のほか、適宜役員会を開催し、運営方針や各種企画等の立案や検討、進捗状況の確認を行うなど、実務的な議論による運営を行った。特に、2021 度は、コロナ禍での開催判断や運営方針など状況に応じ適宜役員会に諮りながら準備を進めた。

＜体制の沿革＞

2014 年 3 月	民間主導のもと「奥能登里山里海国際芸術祭実行委員会」発足
2015 年 4 月	珠洲市に「奥能登国際芸術祭開催準備室」を設置
5 月	「奥能登里山里海国際芸術祭実行委員会」を発展的に解散し「奥能登国際芸術祭実行委員会」に改編
2017 年 9 月	奥能登国際芸術祭 2017 開催
2018 年 3 月	珠洲市奥能登国際芸術祭開催準備室を解散
2018 年 4 月	珠洲市企画財政課芸術祭推進係を設置し「奥能登国際芸術祭実行委員会事務局」を運営
2019 年 4 月	珠洲市奥能登国際芸術祭推進室を新設し、「奥能登国際芸術祭実行委員会」を運営

２－(3)－②　事務局体制

2019 年 5 月から旧消防庁舎へと事務所を移転し、推進室職員を中心に業務を開始した。2020 年 4 月からは、市職員に加えサポートスズから 1 名、2021 年 7 月からは会議所から 2 名の職員を派遣していただき、開催にむけた運営体制を整えた。
事務局においては、基本的に週 1 回スタッフ全員（市職＋サポートスズ）参加での定例会議を開催したほか、毎月 1 回程度を拡大会議（＋市関係各課、会議所）、また、総合ディレクターも含めたディレクター会議（全体会議）を行うなど、進捗状況の確認や情報共有に努めた。

また、市職員の調整、交通体系の整備、システム導入、会場設営等については、市企画財政課職員を中心に協力をいただいた。

＜主な役割分担＞

① 総務・営業班……総務、財務、パスポート販売、ツアー・視察対応など
② 運営班……コロナ対策、会場管理、誘導看板設置など
③ 広報班……メディア対応、広報物作成、ホームページ・SNS 管理など
④ 作品制作・管理班……基盤整備、作家視察など
⑤ サポーター班……サポーター運営、受付管理など
⑥ 総合受付班……インフォメーション、総合案内など
⑦ 交通・移動班……すずアートバス、レンタサイクル管理など
⑧ 公式行事班……開幕式、閉幕式、企画発表会など

２－(3)－③　行政職員等の連携

今回の芸術祭では、コロナ禍の影響により市外からのサポーターが見込めず、会期中の受付はもとより、制作、会場準備、撤収作業に至るまで、市職員の全面的な協力が必要不可欠であった。
作品制作が本格化した 2021 年 7 月末からは連日のように各課室から職員数名が作品会場での制作業務に従事していただいた他、会期中は、各課室が割り当てられた分担表に基づき、検温スポットでの検温業務、作品会場の受付など、コロナ対策も講じながら円滑な運営に取り組んでいただいた。
また、会期中には、衆議院議員選挙が執り行われるなど、各課室内で人員等を調整し柔軟に対応していただいた。

■市職員の協力人数について（のべ人数）

	作品制作期	会期中	作品撤去期	合計
市職員数	130 人	1,337 人	10 人	1,477 人

２－(3)－④　関係機関との連携推進

2019 年 3 月 11 日に、実行委員会、金沢２１世紀美術館、金沢美術工芸大学と３者において、芸術祭開催に向け、相互間で誘客促進を行うことなど、連携・協力協定の締結を行った。

奥能登芸術祭へ連携

実行委と21美、金沢美大

珠洲市の奥能登国際芸術祭実行委員会と金沢21世紀美術館（21美）、金沢美大は11日、来年開催の第2回芸術祭に向け、連携・協力に関する協定を結んだ。芸術祭と21美を訪れるツアー開催などを通じて共に来場者を増やし、美大は芸術祭参加型の授業を新設する。

21美で行われた協定締結式では、山野之義金沢市長の立ち会いの下、芸術祭実行委員長の泉谷満寿裕珠洲市長、21美の島敦彦館長、金沢美大の山崎剛理事長・学長が協定書に署名した。

泉谷氏は「相乗効果が得られるようお願いしたい」、島氏は「芸術祭がさらに盛り上がる」、山崎氏は「教育の幅が広がる」などとあいさつし、山野氏は「石川、日本をもっと元気にできる」と期待を込めた。

連携・協力を確認する（左から）島、山野、泉谷、山崎の4氏＝金沢21世紀美術館

２－(3)－⑤　サポーター・ボランティアや地域住民との協働

前回の芸術祭を契機に、2019 年 3 月一般社団法人サポートスズが組織された。芸術祭業務の支援、サポーターの運営など、芸術祭のあらゆる面で幅広く協力していただき大きな力となった。

芸術祭は、制作活動の動員、会期中の受付など、サポーター、地域住民の協力は必要不可欠であり、サポートスズには、サポーター、地域住民と運営側の調整役を一手に引き受けていただいた。

サポートスズは、前回の芸術祭でのネットワークを活かしながら、積極的に地域や学校等に赴き、芸術祭の説明や活動内容の紹介、地域での交流など活動を展開したことにより、地域住民への理解も深まりサポーター、協力者も増加していった。

こうした協働活動による、制作・運営が行われたことで、来場者に地域全体を舞台とした地域芸術祭の魅力を存分に感じていただくことができた。

２－(3)－⑤ⅰ　登録サポーター状況　（2021 年 12 月 31 日現在）

登録者数	633 人	うち事務局スタッフ 4 人・職員 16 人
参加者	53 人	参加率…8%
男女比	男 4：女 6	男性 227 人：女性 406 人
登録国	6 か国	日本・台湾・香港・ベルギー・オーストラリア・アメリカ
地域別	市内 158 人	上戸地区 30 人、飯田地区 23 人、宝立地区 22 人、正院地区 17 人、若山地区 16 人、大谷地区 14 人、蛸島地区 14 人、三崎地区 13 人、直地区 8 人、日置地区 1 人
	市外 220 人	金沢市 117 人、輪島市 35 人、能登町 18 人、七尾市 8 人、能美市 7 人、かほく市 7 人、小松市 6 人、白山市 5 人、野々市市 5 人、河北郡 4 人、羽咋市 3 人、加賀市 2 人、鹿島郡 2 人、穴水町 1 人
	県外 234 人	東京都 69 人、神奈川県 22 人、大阪府 14 人、香川 13 人、千葉県 11 人、長野県 10 人、兵庫県 8 人、京都府 7 人　その他 72 人
	海外在住 21 人	台湾 12 人、香港 4 人、ベルギー2 人、 アメリカ 2 人（日本人）、オーストラリア 1 人

（資料：サポートスズ）

※外国人の登録者数は、市内・市外・県外・海外在住を合わせて 21 人。

※会期以外でも、常設作品の清掃、周辺の草刈り、ツアー時の対応など、作品管理をはじめとした活動を行っている。

２－(3)－⑤ⅱ　サポーター活動人数

コロナ禍でのサポーター活動は、参集範囲も制限しながらの活動であったため、市職員、会議所職員、地元企業サポーターなど、市内からご協力をいただいた。

会期中は、サポートスズを中心に、毎朝 8 時から、ラポルトすず前（雨天時はロビー）で朝礼を行い、サポーターやスタッフの配置、確認事項の伝達等を行うほか、毎日、サポーターやスタッフ向けの必要情報が掲載された「SUZU レター」が発行され、わかりやすく好評であった。

活動人員（2020 年 3 月～）

のべ人数		作品制作	会期中	作品撤去	合計
サポーター登録者	市内	150	19	3	172
	市外	27	54	7	88
地元有志（登録なし）		403	737	2	1,142
合計		580	810	12	1,402

のべ人数	作品制作	会期中	作品撤去	合計
市職員、会議所職員	130	1,337	10	1,477

合計	710	2,147	22	2,879

※2020 年 3 月から大蔵ざらえプロジェクトを皮切りに作品制作活動をスタート。
4 月国の緊急事態宣言により中断を余儀なくされたが、7 月から市内サポーターを中心に再開した。(2020 年度サポーター活動参加数のべ 157 人)
※大蔵ざらえプロジェクトは、サポーターをはじめ地域住民、市青年団協議会等を含むのべ 133 人が参加。

２－⑶－⑤ⅲ　企業サポーター

珠洲商工会議所の会員を中心に、会期中の受付業務など支援いただける事業所等を募集した。受付する事業所に対しては、事前に、受付会場で作品の説明や受付方法等の運営方法をレクチャーし、会期中は円滑な運営を行っていただいた。

登録事業者数

企業サポーター数	12 事業所（のべ 72 人）

２－⑶－⑤ⅳ　地元協力者について

サポーター登録の有無にかかわらず、地域住民による受付やおもてなし等での協力や、準備・撤収など自発的な活動が市内各地で見られた他、いくつかの企業や団体などには、会期中を通して組織的に関わっていただいた。

事務局が把握した活動のうち、その主なものは以下のとおり。

地区	No	場所	内容
大谷	1	旧清水保育所	案内、作品管理
	2	スズ・シアター・ミュージアム	制作、作品管理、来場者誘導
日置	8	旧日置公民館	物販（土日） 駐車場整理、交通誘導
	9	舟小屋	作品管理
三崎	10	旧粟津保育所	ふるまい（新米） 作品管理

蛸島	17	島崎家	受付
	19	旧漁具倉庫	交通誘導
正院	20	旧正院駅	作品管理、物販等
	23	旧瓦工場	作品管理
飯田	29	旧図書館	作品受付
	30	八木邸	作品受付
	31	飯田交通待合所２階	作品受付
上戸	35	上戸の倉庫	作品受付、物販
宝立	39	旧鵜飼駅	駐車場整理、交通誘導
	40	旧柏原保育所	作品受付、管理
若山	43	旧上黒丸小中学校	案内、駐車場整理
	44	吉ヶ池の民家	案内、物販等

（サポーター活動の様子）

２－(4)　個々の取り組みの検証

２－(4)－①案内体制

２－(4)－① i　公式インフォメーションセンター

奥能登国際芸術祭を訪れる多くの来場者に対する総合案内機能として、さいはてのキャバレーに「公式インフォメーションセンター」を設置し、事務局スタッフ常駐のもと情報提供及び公式グッズの販売等を行った。会期中は無休で運営していたことや、作品も隣接しており会期中は来場者が多く見られた。

また、市外からの来場者にとっての交通結節点である「道の駅すずなり」においても、会期中は事務局スタッフが常駐して対応し案内・広報を行った。

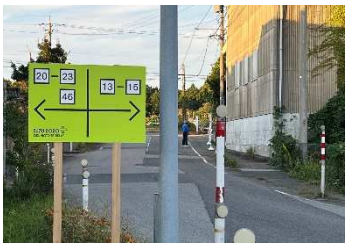
■公式インフォメーションセンター販売実績（9 月 2 日～10 月 22 日）

分　類	売　上　額	備　考
公式グッズ	2,852,520 円	浅葉球デザイン
ガイドブック等書籍	1,314,600 円	公式ガイドブック、ガイドマップ
作品鑑賞パスポート	2,894,300 円	
合　計	7,475,062 円	

２－(4)－① ii　サイン看板/のぼり旗

来訪者を案内するための仮設案内看板については、主要道路沿いや作品会場近辺を中心に約440基を設置した。しかし、表記がわかりにくい、誘導の不足、距離等の必要情報が記載されてない等の苦情が多く寄せられ、会期前半の段階で設置個所の増設、看板の記載内容の修正、距離等の内容について追加記載を行った。その効果もあって、案内看板自体に対する苦情は、会期が進むにつれて減少していった。来場者の9割以上がレンタカー等、車の利用者であったことを考えると、補助的な案内看板の設置や会場近辺での案内体制の構築など、次回に向けた対応の充実が切に求められる。

のぼり旗についても、作品会場、会場の入口を中心に設置した。しかしながら、外浦地区では、強風による破損又は、のぼり旗がポールに巻き付き機能しないといったことが多くみられ、巡回時には頻繁に交換するといった対応が多かった。



2－(4)－①iii　案内用ツール（ガイドブック・マップ）

案内用のツールとして、公式ガイドブック、公式ガイドマップ、公式ウェブを作成した。

公式ガイドブックについては、作品情報とともに巡り方やバス時刻表、エリア別での立ち寄り・土産・飲食情報等を網羅し、さながら「本市全体でのガイドブック」のような内容となったことで、来場者のみならず、市民にとっても貴重な情報源になったものと思われる。

ガイドマップについては、ガイドブックで詳細に書き込みができなかった各作品会場の駐車場や各飲食店などをわかりやすく掲載。

（公式ウェブについては、「2-(4)-④iii　公式ウェブの展開」にも掲載。）

■ガイドブック
発売日　：2021/8/16
ムック　：162 ページ
ISBN-10 ：4773821051
ISBN-13 ：978-4773821055
寸法　　：14.8 x 1.1 x 21 cm
価格　　：1,300 円（税込み）

■ガイドマップ
価格：100 円（税込み）

■公式 web サイト

（集計期間：2021 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日）

アクセスユーザー数：168,310 人（うちリピーター23.7%）

地域内訳：日本 96%（金沢 17.2%　大阪 11.4%　横浜 9.6 ほか）

　　海外 4%（アメリカ 1.3%、中国 0.8%、台湾 0.3%、香港 0.1%ほか）

※日本語の他、英語、中国語（繁体・簡体）でも翻訳

２－(4)－②　交通システム

２－(4)－②ｉ　作品案内バス「すずアートバス」

初めての来市で地理に不安のある方や、公共交通でお越しの方などに作品を安心して鑑賞していただくため、作品案内バス「すずアートバス」を運行した。

午前２コース、午後２コースの１日合計４コースを運行するとともに、全てのバスに地元ガイドが乗車し、作品及び地域情報を提供した。コロナの影響で、10 月 1 日の全公開から運行開始となったが、合計 126 便を運行し、延べ 1,201 人の方にご利用いただいた。（会期中２便不催行）

「すずアートバス」運行実績（のべ人数）

	コース	利用者数	
午前	A コース（三崎～日置～大谷）10 作品	32 便	318 人
	B コース（正院～蛸島～三崎）13 作品	31 便	261 人
午後	C コース（飯田～宝立～上戸～直～正院）15 作品	31 便	273 人
	D コース（飯田～若山～大谷）14 作品	32 便	349 人
合　　計		126 便	1,201 人

登録ガイド数：20 名

利用者の内訳

	利用者数	割合
珠洲市内	55 人	4.6%
石川県内	445 人	37.1%
関東	420 人	35.0%
関西	160 人	13.3%
その他国内	121 人	10.1%
合　　計	1,201 人	

販売実績

料金体系		販売枚数	販売額
全コース（通し券）	大人（5,000 円）	198 枚	990,000 円
	小人（2,500 円）	2 枚	5,000 円
１コース	大人（2,000 円）	453 枚	906,000 円
	小人（1,000 円）	14 枚	14,000 円
合　　計		667 枚	1,915,000 円

※小人は大人の半額

２－(4)－②ⅱ　お宿送迎バス

前回芸術祭で、宿泊施設への交通手段が少なかったことを踏まえ、道の駅すずなりを拠点に、市内宿泊施設（飯田町を除く）へ送迎を行うバスを運行した。宿泊施設が市内でも分散していることから、東回り（正院～蛸島～三崎～日置）と西回り（上戸～宝立～大谷）の２ルートを設定し来訪者の利便性向上を図った。

お宿送迎バス運行実績

	コース	利用者数	
東回り	すずなり　夕方発	17 便	32 人
	すずなり　朝着	15 便	25 人
西回り	すずなり　夕方発	17 便	33 人
	すずなり　朝着	15 便	47 人
合　　計		64 便	137 人

料金：片道券 大人 1,000 円／小人 500 円
すずなり夕方発 17：45／朝着 8：50

２－(4)－②ⅲ　レンタサイクル

市内２か所を拠点に、レンタサイクル（電動アシスト付き）を配置し、来訪者が作品会場等を快適に巡ることができるよう整備した。レンタサイクルは計 25 台を配置し、利用する場合は専用アプリに登録し、その場で利用することが可能で、窓口での利用の確認や料金の精算など煩わしさがなくスムーズに運用することができた。

レンタサイクル利用実績

貸出・返却場所	貸出回数	利用者数
さいはてのキャバレー	165 回	112 人
道の駅すずなり	78 回	66 人
合　　計	243 回	178 人

料金：15 分 70 円

２－(4)－②ⅳ　レンタカー利用状況

閉会後に取りまとめられた来場者アンケートによれば、来場者の交通手段においては自家用車に次いでレンタカー利用をあげる来場者が多い状況であった。これを踏まえ、会期を含む 9 月･10 月における珠洲市レンタカー利用者宿泊助成制度の実績は以下のとおり。

【珠洲市レンタカー利用者宿泊助成制度利用状況】
レンタカーを借りて市内で宿泊した方に、レンタカー1 台当たり 3,000 円/泊を助成

■レンタカー利用宿泊者数

	2021 年	(2020 年)	2019 年	増減比
9 月	235 人泊	(141 人泊)	230 人泊	10.8%
10 月	320 人泊	(178 人泊)	226 人泊	41.5%
合計	555 人泊	(210 人泊)	456 人泊	21.7%

※助成金に該当するレンタカーに乗車し宿泊した人泊数。

■レンタカー助成申請者数

	2021 年	(2020 年)	2019 年	増減比
9 月	181 人	(95 人)	144 人	25.6%
10 月	246 人	(119 人)	125 人	96.8%
合計	427 人	(214 人)	269 人	58.7%

※年月については助成金申請日ベース

２－(4)－②ⅴ　のと里山空港利用状況

のと里山空港発着の羽田－能登便については、9～10 月がコロナの影響により減便されたことにより、搭乗率についても減少している。

■羽田能登便搭乗数（搭乗率）

	2021 年	(2020 年)	2019 年	増減比
9 月	2,640（24.2%)	2,780(31.2%)	14,940(76.5%)	▲82.3%
10 月	5,717（39.3%)	4,846(50.2%)	15,547(82.0%)	▲63.2%
合計	8,357（32.8%)	7,626(41.1%)	30,487(79.2%)	▲72.5%

２－(4)－②vi　珠洲特急バス利用状況

本市と県都・金沢を結ぶ公共交通の大動脈「珠洲特急線」。会期中は通常の往復 3 便に加え、臨時に、早朝金沢を出発する便と、夕方珠洲を出発し、金沢駅から東京駅への最終の新幹線に乗り換え可能な往復 1 便を増便して対応した。

■珠洲特急バス利用状況（会期中）

・珠洲発～金沢

	2021	2020	増減比
6:20	588	558	5.3%
8:50	926	772	19.9%
9:20	－	714	－
13:20	769	625	7.7%
※17:30	415	－	－
合計	2,698	2,669	1.0%

※▲会期中のみ臨時便（増便）

※2020 年は 1 日 4 便運行

・金沢発～珠洲

	2021	2020	増減比
※　8:30	270	－	－
10:40	673	647	4.0%
14:20	872	－	－
15:00	－	631	－
17:30	387	435	▲11.1%
合計	2,202	2,601	▲15.4%

※会期中のみ臨時便（増便）

※2020 年は 1 日 4 便運行

２－(4)－②vii　渋滞・駐車場対策

芸術祭開催前から、交通・駐車場対策については懸念される点が多く、事前に珠洲警察署や奥能登土木事務所等の関係機関とも相談を行った。幸い、会期中に交通面においての大きな事故の発生は報告されなかったものの、作品会場近くでは十分な駐車スペースを確保することが困難な場所もあることから、道路に駐車するなどで通行に支障があった。こうした場所については、特に土日の混雑時には、各地区の交通推進隊のご協力をいただき、交通整理、駐車場案内等を行っていただくなど対応した。

今後は、公共スペースのみならず、近隣住民等からの私有地を借り上げるなど駐車場の確保も考慮すべきであった他、駐車場自体の案内が不十分であった点や、渋滞や駐車場整理に対応するスタッフの確保が難しく、十分な対応ができなかった点も反省点として挙げられる。

２－(4)－③　受け入れ・もてなし

２－(4)－③ｉ　珠洲まつり御膳

「日本の祭と食文化の源流を探る」をコンセプトに、地域の秋祭りシーズンでの芸術祭開催であったことから、能登の秋祭りで行われる「よばれ」の風習にちなみ、市内９店舗の飲食店や宿泊施設において、「よばれ」料理をモチーフにした御膳料理を提供した。

■珠洲まつり御膳

市内の飲食店や宿泊施設にて、「よばれ」料理をモチーフにした御膳料理を提供

分　類	提　供　数
飲食店（9 店舗）	159 膳
宿泊施設（3 施設）	2 膳
合　　計	161 膳

２－(4)－③ⅱ　スズ弁の開発

前回の課題も含め、市内で飲食できるような取り組みとして、NPO 法人能登すずなりと連携し、珠洲市の食の魅力を発信できる新たな弁当「スズ弁」の開発を行った。会期中は、インフォメーションセンターをはじめ各店舗で販売した。また、スズ・シアター・ミュージアムでは、能登丼組合が飲食ブースを設営するなど、食の提供を通して珠洲の魅力向上を図った。

販売店舗	販売数
7 店舗	7,773 個

■スズ弁の開発

【試作品販売及びアンケート調査の実施】　販売数 310 個

・平成 30 年 9 月 22 日（土）　道の駅すずなり　（20 個）

・平成 30 年 9 月 22 日（土）　（21 個）

日本青年会議所北信越地区石川ブロック持続可能な社会実現委員会

・平成 30 年 9 月 29 日（土）　道の駅すずなり　（20 個）

・平成 30 年 10 月 5 日（金）　（14 個）

石川県旅行商品プロモーション会議エクスカーション

・平成 30 年 10 月 6 日（土）　道の駅すずなり　（20 個）

・平成 30 年 10 月 11 日（木）　（96 個）

第 5 回日本クアオルト協議会大会 in 珠洲

・平成 30 年 10 月 20 日（土）　金沢駅観光案内所　（50 個）

・平成 30 年 12 月 1 日（土）　石川県アンテナショップ　（69 個）

・平成 31 年 4 月以降発売開始

２－⑷－③iii　食プロジェクト

古くから受け継がれてきた伝統行事や、美しい里山里海から四季折々にもたらされる豊かな旬の食材を活かした珠洲市の食文化を、作家や料理人と協働して魅力を発信するとともに、その文化の継承や新たな担い手の育成など取り組みを進めている。

■「食プロジェクト」キックオフ

「食」をテーマに開催した、第 6 回「奥能登フラム塾」では、鶴岡市食文化創造都市制作アドバザーの太下義之氏をゲストに、「「食のまち珠洲」を目指して」と題した講演を開催。参加者とともに意見交換を行い、「食のまち珠洲」の実現へ向けスタート。

日　時：令和 2 年 2 月 24 日（月・祝）　14：00～15：30

ゲスト：太下義之

参加者：23 人

■「食プロジェクト」推進委員会

珠洲の「食」の発展を目指して、日ごろから活動を行っている方々をメンバーに、珠洲の食文化持続的創造プロジェクト（食プロジェクト）推進委員会を立ち上げた。プロジェクトとして、珠洲の食文化を知り、食の提供を通して魅力を発信し、継承する人材を育てるという３つの方針を固め実現に向けて活動を行っている。

・10/23　第１回「食プロジェクト」推進委員会
・11/10　第２回「食プロジェクト」推進委員会
・11/15～16　EAT&ART TARO さん市内視察
・1/8　EAT&ART TARO さんと「食のフラム塾」打合せ
・1/14　珠洲市食生活改善推進協議会ヒアリング
・1/16～17　第１回「食のフラム塾」　※コロナの影響で中止
・8/8　第３回推進委員会
・8/26　第４回推進委員会
・9/5～　会員有志で、珠洲市の食材や郷土料理にこだわった弁当を提供。スズ・シアター・ミュージアム敷地内に食堂テントを開設。（N37°典座）

■地域の食文化の調査

のと Food studies と連携し、地域の食文化のヒアリング調査を実施。
奥能登料理本「よばれん華」の販売。

２－(4)－③ⅳ　公式グッズ制作・販売

公式ガイドブックや作品鑑賞パスポートのほか、新進気鋭のデザイナー浅葉球 氏がデザインした公式グッズを販売した。

■公式グッズ販売実績

公式インフォメーションセンターにて販売

	商品名	販売価格（税込み）	販売数	売上額
公式グッズ	マルシェバッグ	1,650	157	259,050
	タンブラー	2,200	56	123,200
	ハンドタオル	550	168	92,400
	クリアファイル	330	634	209,220
	ピンバッジ	660	291	192,060
	ボールペン	440	100	44,000
	マスキングテープ	550	241	132,550
	靴下	1,430	358	511,940
	手ぬぐい	880	778	684,640
	ステッカー	440	378	166,320
	ハット	2,750	46	126,500
	キャップ	2,750	46	126,500
	サコッシュ	1,430	122	174,460
	バスポートケース	660	165	108,900
	T シャツ（スタッフ T）	1,650	202	333,300
	T シャツ（刺繍入り）	3,080	125	385,000
	小計		3,867	3,670,040
書籍等	ガイドブック	1,300	777	1,010,100
	ガイドマップ	100	1,857	185,700
	よばれんか（料理本）	1,980	60	118,800
	小計		2,694	1,314,600

合計	6,561	4,984,640

■公式グッズ

SUZU RORO
OKU-NOTO TRIENNALE

SUZU RORO
OKU-NOTO TRIENNALE

SUZU RORO
OKU-NOTO TRIENNALE

SUZU RORO
OKU-NOTO TRIENNALE

SUZU RORO
OKU-NOTO TRIENNALE

２－(4)－③ⅳ　市内「道の駅」利用状況

市内に 3 か所、それぞれが車で約 30 分の等間隔に存在する「道の駅」は、芸術祭で本市を訪れる多くの方々にとって、移動の拠点となった。入込客数、売上額については、特に、道の駅すずなりの 2021 年 10 月については、オープン以来最高となる売り上げを記録するなど賑わいをみせた。会期中の市内道の駅 3 か所における入込客と物販売り上げは以下のとおり。

入込・売上の推移（9 月～10 月）

		2021 年	（2020 年）	2019 年	増減比
道の駅 すずなり	入込（人）	15,735	(7,242)	9,240	70.3%
	売上（千円）	23,897	(11,576)	14,240	67.8%
道の駅 すず塩田村	入込（人）	16,083	(17,390)	43,481	▲63.0%
	売上（千円）	9,284	(9,111)	18,597	▲50.1%
道の駅 狼煙	入込（人）	6,581	(5,172)	6,761	▲2.7%
	売上（千円）	10,236	(7,775)	7,327	39.7%
合計	入込（人）	38,399	(29,804)	59,482	▲35.4%
	売上（千円）	43,417	(28,462)	40,164	8.1%

■道の駅「すずなり」

	9 月			10 月			合計		
	2021	(2020)	2019	2021	(2020)	2019	2021	(2020)	2019
入込客数	5,864	3,627	4,810	9,871	3,615	4,430	15,735	7,242	9,240
物販売上	8,871	5,464	7,138	15,026	6,112	7,102	23,897	11,576	14,240

■道の駅「すず塩田村」

	9 月			10 月			合計		
	2021	(2020)	2019	2021	(2020)	2019	2021	(2020)	2019
入込客数	6,492	7,698	22,391	9,591	9,692	21,090	16,083	17,390	43,481
物販売上	3,678	3,927	9,487	5,606	5,184	9,110	9,284	9,111	18,597

※2020 年から算出方法変更

■道の駅「狼煙」

	9 月			10 月			合計		
	2021	(2020)	2019	2021	(2020)	2019	2021	(2020)	2019
入込客数	2,654	2,832	3,928	3,927	2,340	2,833	6,581	5,172	6,761
物販売上	3,869	4,149	3,956	6,367	3,626	3,371	10,236	7,775	7,327

■市内道の駅利用状況（3 施設合計）

	9 月			10 月			合計		
	2021	(2020)	2019	2021	(2020)	2019	2021	(2020)	2019
入込客数	15,010	14,157	31,129	23,389	15,647	28,353	38,399	29,804	59,482
物販売上	16,418	13,540	20,581	26,999	14,922	19,583	43,417	28,462	40,164

２－(4)－③ｖ　「作品鑑賞パスポート特典」利用状況

会期中、市内の飲食店や宿泊施設などでパスポートを提示することにより、各種優待サービスを受けることができる「作品鑑賞パスポート利用特典の実施状況は以下のとおり。

■パスポート特典の概要

実施期間	2021 年 9 月 4 日～11 月 5 日
対象施設	市内 47 の店舗・施設 【内訳】小売店舗　19　（お土産、塩、菓子、酒等） 飲 食 店　10 宿　6 施　設　4　（道の駅など） そ の 他　8　（各種サービス）

■パスポート特典の利用件数

期間中に提供したパスポート特典の件数は 4,995 件である。

地区別にみると、飯田地区（52.8%）、日置地区（20.0%）が多い。内容別にみると、小売店舗（53.3%）、道の駅など施設（42.6%）が多く利用された。

	小売店舗	飲食店	宿	施設	その他	合計
大谷	20	10		180		210
日置			2	1,001		1,003

三崎			10	132		142
蛸島			3			3
正院						
直	20			818		838
飯田	2,472	15	150			2,642
上戸	122					122
宝立	30					
若山					5	
計	2,664	25	165	2,131	10	4,995

２－(4)－③vi　宿泊及び飲食について

宿泊施設や飲食店については、公式ガイドブックへの情報掲載や公式ホームページにMAP を掲載するなど情報提供に努めた。市内宿泊施設への誘客については、能登すずなりが窓口となり、情報提供、相談対応を行ったほか、宿泊施設までの交通手段として、道の駅すずなりを発着地として「お宿送迎バス」を運行し利便性の向上を図った。

また、飲食関係については、上記の他に会議所が製作した「ランチ MAP」などを配布し、昼食がとれる飲食店情報の提供を行った他、来場者が多く見込むスズ・シアター・ミュージアムでは、市内事業者が出店し飲食の販売や、インフォメーションでは、スズ弁の販売等を行った。事業者にとっても、さまざまな可能性を感じさせるものとなった。

入込者数 合計(9 月～10 月)

	2021 年	(2020 年)	2019 年	増減比
日帰り	188,363	(130,523)	196,171	▲4.0%
宿泊者	12,312	(12,035)	12,604	▲2.3%
合計	200,675	(142,558)	208,775	▲3.9%

日帰り入込客数(9 月～10 月)

	2021 年	(2020 年)	2019 年	増減比
観光拠点	142,960	(130,523)	179,871	▲20.6%
イベント	45,403	(0)	16,300	178.5%
合計	188,363	(130,523)	196,171	▲4.0%

※芸術祭来場者を含む

市内宿泊客数(9 月～10 月)

	2021 年	(2020 年)	2019 年	増減比
旅館・ホテル	8,207	(8,791)	9,679	▲15.3%

民宿など	2,536	(1,527)	2,346	8.0%
キャンプ場	1,569	(1,717)	579	170.9%
合計	12,312	(12,035)	12,604	▲2.3%

２－(4)－③vii　「日置ハウス」利活用状況について

廃校となった旧日置小中学校を改築し、日置地区の滞在交流の拠点として 2017 年 6 月にオープンした滞在交流施設日置（日置ハウス）は、芸術祭においても作品制作のため滞在するアーティストや、市外から集まったサポーターの宿舎として役割を果たした。利用者については、コロナの影響もあり宿泊者数を制限したことから少なかったものの、民宿と比べ安価な料金で宿泊できることから、長期間で滞在を予定している利用者にとっては好評を得ていた。

また、サポーターについては、実行委員会から宿泊を一部助成するなど、サポーター組織拡充へむけた取り組みも行った。

（芸術祭関係宿泊者数）

	作品制作期	会期中	作品撤去期	合計
サポーター	5 人泊	75 人泊	4 人泊	84 人泊
作家関係	209 人泊	44 人泊	1 人泊	254 人泊
計	214 人泊	119 人泊	5 人泊	338 人泊

※日置ハウス宿泊者全体（2021 年 1 月～10 月）：506 人

２－(4)－③viii　視察対応・ツアー受入状況

芸術祭期間中にかかるツアー、視察対応は、以下のとおりとなった。視察では、アメリカ、オーストラリア大使館をはじめ、文化庁、十日町市、瀬戸内など先進地からの視察もあった。ツアーは、ほっこく観光、クラブツーリズムが旅行商品として開発。また、市内小学校の児童も、学校活動の一環として地元作品を中心に鑑賞を行った。

（視察対応･ツアー受入集計）

	件数	人数
視察	28 件	106 人
ツアー	78 件	1,713 人
計		1,819 人

※視察は事業説明等を行ったものに限る

※ツアーは QR コードで団体登録を行ったものが対象

（視察対応状況）

月日	団体名	受入人数
9 月 8 日	文化庁補助金審査委員	5
9 月 9 日	文化庁補助金審査委員	5
9 月 11 日	クラブツーリズム企画担当者	2
9 月 17 日	北國新聞株式会社飛田会長	2
9 月 19 日	ハースト婦人画報社視察	4
9 月 20 日	ハースト婦人画報社視察	4
9 月 20 日	金沢市長	2
9 月 24 日	ハースト婦人画報社ニコラ・フロケ社長視察	2
9 月 26 日	福武財団	3
9 月 28 日	白山手取川ジオパーク推進協議会	7
9 月 30 日	アメリカ大使館総領事	2
10 月 6 日	オーストラリア大使館	2
10 月 8 日	横浜トリエンナーレ蔵屋ディレクター	1
10 月 9 日	横浜トリエンナーレ蔵屋ディレクター	1
10 月 10 日	十日町市長	2
10 月 10 日	瀬戸内国際芸術祭小川局長	1
10 月 11 日	十日町市長	2
10 月 11 日	瀬戸内国際芸術祭小川局長	1
10 月 16 日	田中泯	2
10 月 16 日	青森県庁	2
10 月 19 日	石川県観光連盟エージェント視察	11
10 月 20 日	越後妻有里山協働機構視察	17
10 月 23 日	いしかわ観光コンシェルジュ視察	4
10 月 27 日	金沢市文化スポーツ局	4
10 月 28 日	横浜トリエンナーレ事務局	2
11 月 2 日	南條史生	1
11 月 3 日	札幌国際芸術祭事務局	3
11 月 4 日	金沢市議会議員	12
	合計　　28 回	106

※事業説明等を行ったものに限る

（ツアー受入状況）

月日	ツアー・団体名	参加人数	備考
9 月 3 日	メディアツアー	21	実行委員会主催
9 月 4 日	オープニングツアー	56	実行委員会主催
9 月 4 日	東京藝術大学	10	
9 月 10 日	上戸公民館	12	
9 月 14 日	輪島市立門前中学校	18	修学旅行
9 月 15 日	輪島市立門前中学校	18	修学旅行
9 月 16 日	星稜大学	14	
9 月 17 日	星稜大学	15	
9 月 21 日	上戸公民館	12	
9 月 24 日	七尾特別支援学校珠洲分校	24	
9 月 25 日	珠洲商工会議所青年部	10	
9 月 26 日	今見れる作品を楽しもうツアー	11	
9 月 29 日	金沢経済同友会	21	
10 月 2 日	金城大学短期大学部美術学科	35	
10 月 5 日	飯田公民館	13	
10 月 8 日	七尾特別支援学校珠洲分校	24	
10 月 9 日	ほっこく観光：D4AH27	28	
10 月 9 日	オイシックスツアー	17	
10 月 9 日	フラムさんツアー	17	
10 月 9 日	クラブツーリズム:M1292	20	
10 月 10 日	フラムさんツアー	17	
10 月 10 日	オイシックスツアー	17	
10 月 11 日	珠洲焼資料館友の会	13	
10 月 12 日	ワークショップすず	22	2 グループ
10 月 12 日	大野町社会福祉協議会	28	
10 月 13 日	ワークショップすず	15	
10 月 14 日	蛸島小学校	18	
10 月 15 日	正院町正寿会	17	
10 月 15 日	輪島商工会議所	14	
10 月 15 日	金沢市工芸協会	15	
10 月 15 日	みさき小学校	25	
10 月 16 日	宝立公民館	25	
10 月 16 日	米沢電気グループ	26	

10 月 16 日	福田敏也と行くツアー	15	
10 月 17 日	福田敏也と行くツアー	15	
10 月 17 日	ほっこく観光:D4AH27	24	
10 月 17 日	北陸鉄道グループ旅行センター:318	28	
10 月 18 日	ワークショップすず	21	
10 月 18 日	みさき小学校	38	3 グループ
10 月 18 日	米沢電気グループ	36	
10 月 19 日	ワークショップすず	21	
10 月 19 日	みさき小学校	12	
10 月 19 日	若山小学校	35	
10 月 19 日	石川公民館	33	
10 月 19 日	蛸島小学校	22	
10 月 22 日	ほっこく観光:D4AH27	19	
10 月 22 日	クラブツーリズム:28116	24	
10 月 23 日	正院町いきいきサロン	7	
10 月 23 日	富山県デザイン協会	11	
10 月 23 日	ほっこく観光:D4AH27	38	
10 月 23 日	アカデミア金沢	24	
10 月 24 日	北陸鉄道グループ旅行センター:318	29	
10 月 25 日	飯田小学校	26	
10 月 25 日	蛸島小学校	17	
10 月 26 日	つばたふるさと探偵団	15	
10 月 26 日	蛸島小学校	32	
10 月 27 日	正院小学校	9	
10 月 27 日	宝立小中学校	40	
10 月 27 日	飯田公民館	16	
10 月 27 日	直小学校	10	
10 月 27 日	石川エネの会のと	16	
10 月 29 日	飯田小学校	28	
10 月 29 日	柳田小学校	37	
10 月 29 日	大谷小中学校	35	
10 月 29 日	正院小学校	20	2 グループ
10 月 30 日	ほっこく観光:D4AH27	32	
11 月 1 日	正院小学校	17	
11 月 1 日	能登町身体障害者福祉協会	22	

11 月 2 日	飯田高校	57	2 グループ
11 月 2 日	直小学校	36	2 グループ
11 月 3 日	フラムさんツアー	16	
11 月 4 日	フラムさんツアー	11	
11 月 4 日	飯田公民館	14	
11 月 4 日	直小学校	8	
11 月 4 日	中島中学校	46	
11 月 5 日	みさき小学校	14	
11 月 5 日	ほっこく観光:D4AH27	25	
11 月 5 日	直小学校	14	
	合計　　78 団体	1,713	

２－(4)－④　広報・宣伝の取り組みについて

総合ディレクターを中心として取り組み方針の検討が進められた。前回に引き続き、コミュニケーションディレクターに広告プランナーの福田敏也氏を招聘し、web デザイン、広告も含めた広報チームを編成し、奥能登国際芸術祭 2020+の広報・PR 戦略を担うこととなった。

東京を始めとする大都市圏には、WEB媒体を中心とした広報・宣伝を中心に展開。県内では、地元マスメディアにも協力をいただきながら広報を展開。市内では、市の広報担当者、能越ケーブルネット、地元新聞社の取材により、広く周知された。

２－(4)－④ｉ　広報印刷物

市内はもとより、金沢 21 世紀美術館などをはじめ、全国の美術館を中心に配布を行った。カフェや県内道の駅へ興味を持つ来場者が多い施設にも協力をいただいた。

下記に挙げるものは、紙面に印刷された広報物をリストアップしている。デザインは全てクリエイティブディレクターの浅葉克己氏、写真を使用している場合は、石川直樹氏が撮影したものを使用した。その他、必要に応じて随時資料を作成。

種類	仕上がり	仕様	部数	備考
告知パンフレット(2020)	A4	両面/A3/2 つ折	50,000 部	2019.9 月発行
告知ポスター(2020)	B2	片面	1,000 部	〃
告知パンフ(2020＋)	A4	両面/A3/2 つ折	50,000 部	2021.7 月発行
会期用ポスター(2020＋)	B2	片面	1,000 部	〃
スズ・シアター・ミュージアムパンフ	A5	両面/A3/4 つ折	30,000 部	2021.9 月発行 デザイン:KIGI

▲2020(告知用ポスター)

▲2020+(会期用ポスター)

２－(4)－④ⅱ　公式ウェブの展開

公式ウェブサイトは、コミュニケーションディレクターの福田敏也を中心に、各種 SNS とも連動し、幅広い年齢層への拡散を図ると同時に、読み物として珠洲の魅力を伝える役割を担った。

公式ウェブには、作家や作品、MAP といった情報だけでなく、奥能登フラム塾や大蔵ざらえプロジェクトといった芸術祭の取組なども積極的に配信した。また、「コロナの対策」などの特設ページを設けるなど、必要な情報をリアルタイムに発信することを念頭に展開した。

公式 Twitter アカウントと連動し、ハッシュタグを拾って TOP ページに反映させるほか、会期中では「悪天候のため公開中止」といった情報をリアルタイムで更新した。

■公式ホームページ（2021 年 1/1～12/31）

アクセスユーザー数	168,310 人
ページビュー数	1,113,681 回

２－(4)－④ⅲ　公式 SNS の運用

Facebook、Twitter、Instagram の3媒体を公式 SNS として運用。

SNS の更新頻度を重視し、会期前後は作品の制作状況等、会期中はパフォーマンスの様子や重要情報をリアルタイムで発信し、現場の盛り上がりを伝えられるような運用を行った。

■SNS フォロワー数（2021 年 12 月末現在）

Twitter	2,711 人
Instagram	6,179 人
Facebook	9,069 人

２－(4)－④ⅳ　各種掲載・報道など（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、web 等）

県内各メディアをはじめ、雑誌社や首都圏メディアへプレスリリースを行った。

各種プレスでの掲載状況は下記のとおり。

メディア掲載件数　（単位：件）

ジャンル	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	計
新聞	51	61	71	191	369
雑誌	9	14	18	27	93
テレビ	2	4	14	52	71

ラジオ	8	1	1	7	17
インターネット	－	20	18	36	69
計	70	100	122	327	619

※事務局へ素材提供、取材等依頼のあったもの。

２－(4)－④ｖ　特別協力と有料広告

北國新聞社の特別協力のもと、会期前後も含め、数多くの記事が掲載された。こうした協力が県内を中心とした周知・PR に大きな役割を果たしたものと考えられる。

また、こうした取材記事のほか、実行委員会により会期中を中心に合計 6 回にわたり、北國新聞朝刊に有料広告を掲載した。

有料広告件数　（単位：件）

ジャンル	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	計
新聞	2	4	1	11	18
雑誌	1	3	1	6	11
計	3	7	2	17	29

２－(4)－④ⅵ　広報すず掲載

毎月、市内全戸に配布される広報すずに「芸術祭新聞」と題し連載ページを設け、芸術祭に関連した活動内容など情報を発信した。

２－(4)－④ⅶ　能越ケーブルネット

行政ニュースを通して、芸術祭の活動をタイムリーに情報を発信するほか、会期直前には作家や作品場所など情報発信。また、特に検温スポットの説明などは特集を組んでいただき、幅広い年齢層にもわかりやすく情報提供を行った。

２－(3)－④viii　シンポジウムほか、関連イベント

＜シンポジウム＞

■市民 14,000 人でつくる「奥能登国際芸術祭 2020」プロジェクト発表会

開催日　2020 年 3 月 8 日（日）

会　場　珠洲市多目的ホール　ラポルトすず

第一部　企画発表　北川フラム　総合ディレクター

第二部　「大蔵ざらえ」スペシャルトーク

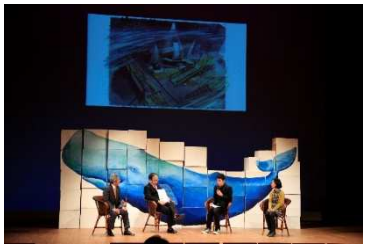
ゲスト：南条嘉毅（アーティスト）

北川フラム（総合ディレクター）

泉谷満寿裕（珠洲市長）

山岸綾（一般建築士事務所サイクル・アーキテクツ）

寸劇「大蔵ざらえ」　出演：大谷地区有志、サポートスズほか



■「奥能登国際芸術祭 2020＋」プロジェクト発表会　※オンライン配信

開催日　2021 年 7 月 15 日（木）

会　場　珠洲市多目的ホール　ラポルトすず

第一部　企画発表　北川フラム（総合ディレクター）

第二部　「スズ・シアター・ミュージアム」設立シンポジウム

コーディネイター：川村清志（国立歴史民俗博物館　准教授）

パネリスト：天野真志（国立歴史民俗博物館　特任准教授）

泉谷満寿裕（珠洲市長）

川邊咲子（国立歴史民俗博物館　プロジェクト研究員）

北川フラム（総合ディレクター）

南条嘉毅（アーティスト）

＜イベント＞

奥能登国際芸術祭 2020 に向けて市民の機運を高めることを目的に、常設作品や施設を活用したイベントを開催。

＜期間限定公開＞

◆お盆期間限定　屋内作品一般公開

公開期間：2018 年 8 月 14 日（火）～16 日（木）

公開時間：10：00～16：00

公開場所：旧清水保育所、八木邸、旧飯田駅

来場者数：705 人

◆秋の期間限定　屋内作品一般公開

公開期間：2018 年 9 月 22 日（土）～10 月 8 日（月・祝）

※土・日・祝日のみ

公開時間：9：30～16：30

公開場所：旧清水保育所、八木邸、旧飯田駅、旧飯塚保育所、旧日置公民館

来場者数：999 人

＜キャバレーイベント＞

■さいはての「ジャズナイト」開催

開催日時：2018 年 12 月 8 日（土）　18：00～20：30

出 演 者：ジャズピアニスト　佐藤允彦

来場者数：84 人

■さいはての”CabaretTalk”『創作の秘密』

開催日時：2019 年 3 月 21 日（火・祝）　18：00～20：30

出 演 者：角田光代

来場者数：78 人

■石川直樹＆森下真樹ディナーショウ！！

開催日時：2019 年 10 月 22 日（火・祝）　18：00～20：30

出 演 者：写真家　　石川直樹

振付家・ダンサー　森下真樹

来場者数：78 人

■山下洋輔さいはての『ジャズナイト』！！

開催日時：2019 年 11 月 10 日（日）　18：00～20：30

出 演 者：ジャズピアニスト　山下洋輔

来場者数：101 人

■さいはての「どやどやナイト」

開催日時：2020 年 2 月 1 日（木・祝）　18：00～20：30

出 演 者：打楽器バンド　どやどや楽団

来場者数：74 人

＜スズズカイベント＞

◆ひびのこづえ×スズズカ 2018 秋

【パフォーマンス】

開催日：2018 年 9 月 23 日（日）、24 日（月・祝）

10 月 20 日（土）、21 日（日）　　4 日間

入場者数：797 人（ 9 月：423 人、10 月：374 人）

【ワークショップ】

開催日時：2018 年 9 月 23 日（日）、10 月 20 日（土）　2 日間

参加者数：42 人（ 9 月 23 日：17 人　10 月 20 日：25 人）

※地元有志の皆さんが「スズズカ食堂」を運営

■ひびのこづえ×スズズカ２０１９秋

【パフォーマンス】

開催日時：2019 年 10 月 12 日（土）、13 日（日）、14 日（月・祝）　3 日間

来場者数：420 人（13 日：276 人、14 日：144 人）

※10 月 12 日は台風のため中止

【ワークショップ】

開催日時：10 月 12 日（土）

来場者数：16 人

（1） ワークショップ等開催

芸術祭を核とした人的なネットワークを緩やかにつなげていくことを目的に、アーティストを招いてのイベントやワークショップを開催。

■映像ワークショップ「コロコロ　コレクティブ」

開催日時：2019 年 10 月 14 日（月・祝）　9：30～17：30

開催場所：旧日置公民館

講　　師：さわひらき、木村悟之

参加人数：飯田高等学校生徒　17 人

■「奥能登マイコロ映像祭」

開催日時：2019 年 10 月 19 日（土）～20 日（日）

開催場所：旧日置公民館

出 演 者：映像作家　さわひらき

映像ワークショップ　木村悟之、明貫紘子

来場者数：246 人（19 日：177 人、20 日：69 人）

※地元飲食店等がブースを出展

＜奥能登フラム塾＞

珠洲の文化や産業をテーマに、各分野で活躍するゲストを講師に迎え、北川フラム総合ディレクターとともに学び、珠洲の魅力や課題を一緒に考えながら、芸術祭全体を磨き上げることを目的とした勉強会。

【第１回】

日　時：2018 年 10 月 2 日(火)　19：00～21：00

テーマ：海の幸

ゲスト：前野美弥次、林　修藏

参加者：24 人

【第２回】

日　時：2018 年 12 月 4 日(火)　19：00～21：00

テーマ：能登のキリコ祭り

ゲスト：高山哲典、菊谷正好、乙脇由美子

参加者：26 人

【第３回】

日　時：2019 年 6 月 4 日（火）19：00～21：00

テーマ：能登杜氏

ゲスト：中倉恒政、川崎秀次

参加者：31 人

【第４回】

日　時：2019 年 8 月 6 日（火）　18：30～20：30

テーマ：珠洲の伝統建築・生活建築

ゲスト：米沢俊郎、樋本政一、今井　誠

参加者：37 人

【第５回】

日　時：2019 年 10 月 1 日（火）　18：30～20：00

テーマ：珪藻土

ゲスト：鍵主　哲、舟場慎一

参加者：24 人

【特別版】さいはての「南極会談」

日　時：2019 年 12 月 7 日（土）　17：00～19：00

ゲスト：アレキサンドル・ポノマリョフ、鴻野　わか菜

参加者：36 人

３－(1)　その他

３－(1)－①　誘客促進の取組

３－(1)－①ｉ　ツアー造成

市内誘客の促進を目的に、市観光交流課、NPO 法人能登すずなり等各関係機関と連携し旅行会社を中心とした営業活動を行うほか、旅行会社が開発した、常設作品を巡る作品鑑賞バスツアーの受け入れを行った。開催に向け、首都圏を中心に旅行会へ宣伝活動を行うほか、ツアーを企画し商品開発に取り組んだ。

（活動実績）

	活動内容
2018 年度	◆旅行会社への PR 活動の実施 ・石川県三大都市圏観光キャラバンに参加。 首都圏の旅行会社を訪問
	◆ツアー商品等の開発 【とっておきの珠洲レシピ】常設作品×珠洲まつり御膳×体験ツアー 第１回：2018 年 9 月 15 日（土）～16 日（日）　不催行 第２回：2018 年 9 月 22 日（土）～23 日（日）　不催行 【すずバススペシャル】　常設作品×スズズカイベント 第１回：2018 年 10 月 20 日（土）　不催行 第２回：2018 年 10 月 21 日（日）　催行 【アートに触れる珠洲旅】　常設作品×珠洲あんこう祭り 2019 年 1 月 13 日（日）～14 日（月・祝）　不催行 【まるかじりバスツアー】　常設作品×食祭珠洲まるかじり 実　施　日：2019 年 2 月 24 日（日） 参　加　者：9 名 鑑賞作品：静かな海流をめぐって（八木邸） 珠洲海道五十三次（正院バス停他）、Something Elesis Possible（旧蛸島駅周辺）、スズズカ（旧飯塚保育所）
2019 年度	◆旅行会社等への PR 活動の実施 ・4/17　いしかわ旅行商品プロモーション会議 ・5/16～17　三大都市圏等観光キャラバン（関西圏） ・5/21～22　三大都市圏等観光キャラバン（中京圏） ・5/23～24　三大都市圏等観光キャラバン（首都圏） ・7/26　株式会社阪急交通社訪問 ・9/13　北陸地区観光商談会（東京都内） ・9/19　全国新聞旅行協議会西日本地区実務担当者会議 ・10/2～3　いしかわ旅行商品プロモーション会議 ・10/10　北陸地区観光商談会（大阪） ・10/15～16　三大都市圏等観光キャラバン（関西圏） ・10/17～18　三大都市圏等観光キャラバン（首都圏） ・10/28～29　三大都市圏等観光キャラバン（中京圏） ・11/7　2019 中国国際輸入博覧会出展（上海） ・11/25　JR 東日本北陸営業センター訪問 【契約実績】 ・㈱阪急交通社　・クラブツーリズム㈱　※会期中ツアー ・㈱ＪＴＢ　・㈱近畿日本ツーリスト　・㈱日本旅行 ・東武トップツアーズ㈱　・のと鉄道旅行センター

	・石川県県民ふれあい公社　※パスポート販売
	◆ツアー商品等の開発 ・「珠洲焼と芸術祭　アートツアー」の実施 催行日：2019 年 10 月 20 日（土）、26 日（土）、27 日（日） 内　容：珠洲焼プロジェクト特別展鑑賞、珠洲焼窯元見学 芸術祭常設作品（八木邸、スズズカ）の鑑賞 参加者：46 人（20 日：12 人、26 日：17 人、27 日：17 人） ・「ヨバレ体験」モニターイベントの実施 開催日時：2019 年 11 月 24 日（日）　18：30～20：00 開催場所：文藝館 参加者数：21 人（実行委員会役員、旅行会社、運営候補者等） ・旅行会社企画担当者「ヨバレ体験」モニターイベントの実施 開催日時：2020 年 1 月 31 日（金）　18：00～20：00 開催場所：文藝館 参加者数：14 人（旅行会社企画担当者、県誘客担当者）
2020 年度	■旅行会社等への PR 活動の実施 ・4 月　三大都市圏（東京・関西・中京）旅行業者へ資料郵送 ・10/15　いしかわ旅行商品プロモーション会議（ホテル日航金沢） ※三大都市圏（東京・関西・中京）旅行業者対象 ・12/22　のと鉄道㈱主催モニターツアー商談会（ビーチホテル） ※東北から広島の旅行会社対象 ・3 月上旬　台湾旅行会社向けセミナー（情報提供） 【契約実績】　※パスポート販売契約 ・㈱ＪＴＢ　・㈱近畿日本ツーリスト　・㈱日本旅行 ・東武トップツアーズ㈱　・ANA セールス㈱ ・ビッグホリデー㈱
2021 年度	旅行会社等への PR 活動の実施 ・4/15～16　北陸地区オンライン観光商談会 （富山国際会議場） ・1/20　阪急交通社担当者現地視察対応 ・1/24　クラブツーリズム担当者現地視察対応 ・3/22　阪急交通社担当者現地視察対応 ・3/25　のと鉄道㈱主催モニターツアー商談会 ※この他、NPO 法人能登すずなり、珠洲市観光交流課で PR を実施。

３－(1)－①ⅱ　ツアーの受け入れ

旅行会社が開発した常設作品を巡る作品鑑賞バスツアーを受け入れた。2020＋会期後についても、スズ・シアター・ミュージアムを核に誘客促進を図る。

（常設作品ツアー受入件数）　　（単位：件/人）

		2018	2019	2020	2021	計
旧清水保育所	受入本数	105	17	10	2	134
（塩田千春）	来場者数	3,449	402	223	31	4,105
八木邸	受入本数	78	46	51	13	188
（スズプロ）	来場者数	2,600	1,057	786	161	4,604
旧飯田駅	受入本数	1	5			6
（河口龍夫）	来場者数	14	81			95
旧飯塚保育所	受入本数	1	5			6
（ひびのこづえ）	来場者数	19	81			90
旧日置公民館	受入本数		1	7		8
（さわひらき）	来場者数		10	87		97
ミュージアム	受入本数				12	12
（南条嘉毅ほか）	来場者数				140	140
旧小泊保育所	受入本数				3	3
（山本基）	来場者数				27	27
飯塚旧事務所	受入本数				1	1
（中島伽耶子）	来場者数				18	18
	受入本数	185	74	68	31	358
合計	来場者数	6,072	1,631	1,096	377	9,176

※2020 年度 コロナの影響で 4～8 月、1 月～3 月までのツアーがキャンセル
※2021 年度は、会期後 11 月～3 月末現在の実績
※2021 年 4 月～8 月コロナの影響と会場準備のため受け入れ中止

3－(1)－②　さいはてのキャバレー貸館事業

前回の芸術祭を機に、もう一度多くの出会いが生まれる場所として再生し、芸術祭の会期外では、芸術祭主催イベントのほか、誰でも利用できる貸館として多くの方が利用されている。

（利用状況）

	利用日数		計
	営利	非営利	
2019 年	12 日	36 日	48 日
2020 年	63 日	10 日	73 日
2021 年	2 日	12 日	14 日
計	77 日	58 日	135 日

３－(3)　新型コロナウイルス感染防止対策について

３－(3)－①　対策の概要

実行委員会では、基本的なコロナ対策（マスク着用、手指消毒、３密回避など）を徹底し、運営側はもとより、市民、来場者が安心して鑑賞できるような体制づくり、QRコードによる入場者管理など感染症対策におけるシステムを構築していった。

これによって、会期中は１人の感染者も報告されず無事閉幕を迎えることができた。

３－(3)－②　感染症対策の体制づくりとガイドラインの策定

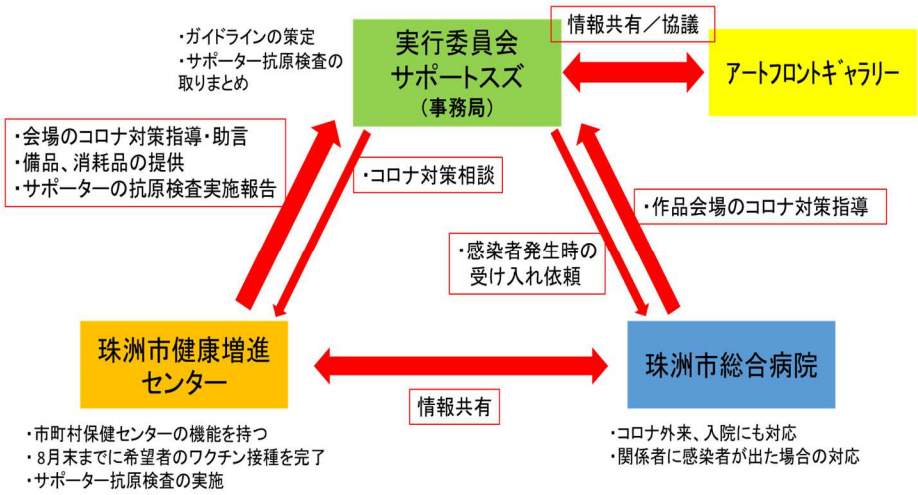
市町村保健センター機能を有する健康増進センターと珠洲市総合病院と連携し、感染症対策を行った。具体的には感染症対策の基本的な指導・助言から消耗品の提供、サポーターへの抗原検査の対応、陽性者や発熱者が出た場合の受入対応など多岐にわたった。

３－(3)－②ｉ　感染症対策の運営体制

市外からのサポーターの募集が多く見込めないことから、受付の数を削減し、地元サポーターと企業サポーター、市職員に協力を依頼することで、市外サポーターが参加できなくても運営できる体制を目指した。特に検温スポットの対応は珠洲市職員に全面的に対応を依頼した。

そのための運営体制の構築にあたっては、サポートスズと実行委員会事務局共同で検温スポットの研修や、各課への個別説明や集落説明会を重ねたりすることで、関係各所との意思疎通を図った。

（運営体制イメージ図）



３－(3)－②ⅱ　ガイドラインの策定

国などが策定しているいくつかの業種別ガイドラインを参考に、作品制作やサポーター活動、説明会、ツアー受入などの項目について「作業活動ガイドライン」を策定した。

刻々と更新される方針に応じガイドラインの内容も見直しながら、2021 年 5 月には、芸術祭期間中にかかる感染症対策をまとめた「『奥能登国際芸術祭 2020＋』における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたガイドライン」（以下、「2020＋ガイドライン」という。）を策定し、会期中の感染症対策の準備を進めた。

３－(3)－②ⅲ　新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたガイドライン

2020＋ガイドラインでは、以下の６項目を柱に策定した。

１　来場者へのお願い

手指消毒や三密の回避、マスク着用などの一般的なコロナ対策に加え、来場者の行動を把握するためのシステムをサイボウズ株式会社の kintone（キントーン）などを活用して事務局主体で開発した。このシステムによって、「誰が」「いつ」「どの作品」に立ち寄ったかが蓄積され、来場者の行動を把握することが可能となった。

＜行動把握システムの流れ＞

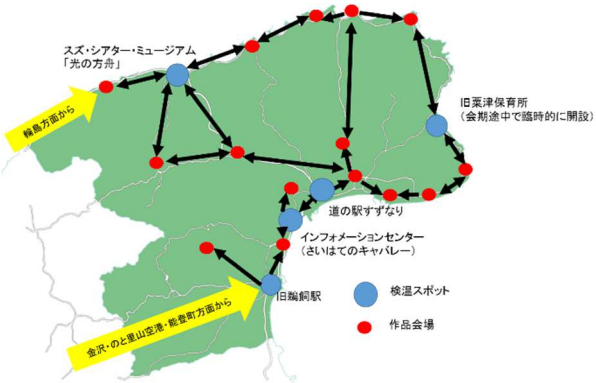
① 市内 5 か所に設置された検温スポット

②体調チェック及び個人情報（氏名、性別、連絡先、年代、居住地）を記入する問診表を検温スポットスタッフに提出し、QR コード付きのリストバンドと交換

※問診票も QR で読み込み入力可能

③20 か所に設置された作品受付でスタッフがリストバンドの QR コードを読み取ると、
　読み取られた情報がサーバーに蓄積される
④２日目以降、鑑賞する際は①に戻って新たなリストバンドを受け取る

なお、これら来場者へのお願いについては、公式ウェブサイトにて奥能登国際芸術祭の「新型コロナ対策」特設ページを制作し、来場者への事前周知も行った。



２　芸術祭関連施設の感染症対策

健康増進センターと珠洲市総合病院の職員とともにプロトタイプとなるいくつかの作品会場を確認し、換気の状況や手指消毒の設置場所、動線の確認を行った。その後、アートフロントギャラリーからの協力も受けながら、作品会場図面を元に換気状況をチェックし、必要に応じてサーキュレーターを設置するなどの対策を行った。
また、作品会場等の受付など、対面で接する感染症対策としては、健康増進センターの指導の下、飛沫による感染を防ぐため、ゴーグルの着用、アクリルボードの設置等対策を講じ、スタッフやサポーターに対しては朝礼などでの周知徹底をした。

（各受付の様子）

アクリルボードの設置
ゴーグル、マスクの着用

３　スタッフ、関係者の感染症対策

石川県内にまん延防止等重点措置が発令されている期間は、奥能登２市２町からのサポーターに募集を限定した。解除後も２市２町以外から参加するサポーターは、健康増進センターにて抗原検査を受診していただいた上で参加をお願いした。
アーティストは作品制作を受託する㈱アートフロントギャラリーの管理の下、事前のPCR検査及び日常的な体調管理を行い、スタッフや関係者などの体調管理を徹底した。

４　イベントやツアーバスなどにおける感染症対策

来場者同士または来場者とスタッフの感染リスクを軽減できるように、客席の間隔や定員数の設定など、飛沫の拡散防止策などを講じた。
また、バスツアーでは、バス会社の管理の下で消毒の徹底をお願いした。

５　地域における感染症対策

市民の方には、大勢の人が来訪することで感染リスクが高まるといった不安感もあることから、珠洲市では県下でもいち早くワクチン接種が開始されたことからも、接種していただくよう呼びかける他、芸術祭におけるコロナ対策について周知し、安心して参加できるよう取り組みを行った。
また、宿泊施設や飲食店をはじめとした事業者に対してもワクチン接種を推奨する他、各施設におけるコロナ対策の徹底を呼び掛けるなど取り組みを行った。

６　体調不良者や新型コロナウイルスの陽性者発生時の対応

珠洲市総合病院や健康増進センター、その他関係機関と連携し、必要な措置を早急に講じられるよう連絡体制を整えた。また、行動把握システムを活用し発症者の行動履歴を追跡できることから、同施設、同時刻に鑑賞していた方を抽出し、該当者に連絡のうえ検査等を促すよう備えた。

＜ガイドラインの策定と改訂＞

2020年６月19日　作業活動ガイドライン作成
2021年１月６日　作業活動ガイドラインに、サポーター活動、ツアー受入を追加
2021年５月11日　2020＋ガイドライン策定
　　制作ガイドラインを追加で策定
2021年６月７日　制作ガイドライン改訂
2021年７月１日　制作ガイドライン改訂
2021年７月５日　2020＋ガイドライン改訂
2021年７月29日　2020＋ガイドライン改訂
2021年８月20日　2020＋ガイドライン改訂

＜新型コロナウイルス対策の主な経過（石川県関係）＞

2019 年 12 月　　中国で新型コロナウイルスが発生

2020 年

2 月 22 日　珠洲市新型コロナウイルス警戒連絡会議

※のち珠洲市新型コロナウイルス対策本部へ移行

4 月　7 日　国の緊急事態宣言①（7 都道府県）※～5/6

4 月 13 日　石川県緊急事態宣言（県独自）

4 月 16 日　国の緊急事態宣言①（全都道府県へ拡大）　※石川県 5/13 解除

2021 年

1 月 7 日　国の緊急事態宣言② ※3/21 解除

4 月 13 日　市内ワクチン接種スタート（県内 TOP）

4 月 23 日　国の緊急事態宣言③　※9/30 解除

5 月 6 日　石川県非常事態宣言（県独自）　※5/9～5/31

5 月 14 日　まん延防止等重点措置区域に指定①（金沢市）　※5/16～6/13

7 月 30 日　まん延防止等重点措置区域に指定②（金沢市）　※8/2～8/31

8 月 18 日　同上　対象区域及び期間延長（野々市、白山市追加）（～9/12）

9 月 9 日　同上　期間延長（～9/30）　※9/30 解除

4　開催効果にかかる検証

奥能登国際芸術祭 2020＋の開催効果を検証するため、会期中に芸術祭を訪れた来場者や、会期終了後の市民を対象にアンケート調査を実施した。

奥能登国際芸術祭 2020＋（以下、「芸術祭」または「第 2 回芸術祭」と表記）の開催効果に関し、奥能登国際芸術祭 2017（以下、「第 1 回芸術祭」と表記）の効果検証と整合をとり、以下の視点で整理を行う。

その集計結果や各種統計データ等に基づく分析・検証結果について、概要は以下のとおり（アンケート調査の結果など、詳細は資料編を参照）。

4－(1) 効果把握の視点

奥能登国際芸術祭（以下、「芸術祭」と表記）の開催効果に関し、芸術祭の開催目的を鑑み以下の視点で整理を行う。

芸術祭の開催目的

①珠洲の魅力（伝統、文化、自然、食等）を広く伝える

②市民が珠洲の潜在力を再認識し自信と誇りを持つ

③全国から集まった鑑賞者、サポーター、市民が交流し新たなつながりが生まれる

⇒それにより、珠洲の魅力を高め、若い人を惹きつけ、UIターン、移住・定住につなげる

開催効果の整理

効果1　魅力の再発見、広域発信に関する効果

効果2　交流の促進、新たな人のつながりに関する効果

効果3　交流人口の増加

効果4　交流人口増加に伴う経済効果

4－(2) 開催効果の整理と分析

効果 1　魅力の再発見、広域発信に関する効果

① 市外から多くの人が訪れ、芸術祭を楽しんだ

約 4 万 9 千人の鑑賞者が芸術祭に訪れたが、うち 16%は石川県外から、63％は珠洲市以外の県内から訪れている。

芸術祭鑑賞者に対するアンケートでは、19％が珠洲市を初めて訪れており、うち県外居住者では 45％が珠洲市を初めて訪れている。

97％が芸術祭を楽しかったと感じ、ほぼ全員が「また珠洲市を訪れたい」と回答している。

芸術祭は、これまで珠洲市に対し関心の低かった人が珠洲市を訪れるきっかけになっているとともに、芸術祭を通じて珠洲市で楽しく過ごした経験から、再訪意向につながっている。

② 多くのメディアに取り上げられ認知度が向上

2021 年度において、新聞、雑誌の掲載記事は 218 件である。特に新聞に関しては、朝日新聞、読売新聞等の全国誌にも掲載され、全国的な認知度向上につながったと考えらえる。

市民の芸術祭の評価に関して「テレビや新聞に取り上げられる」(66%)、「珠洲の魅力が外に発信される」(62%)を挙げる声が大きく、魅力発信の効果を実感した市民が多い。

③ 鑑賞者は芸術作品を通じて珠洲の特徴を理解、市民は珠洲市の良さを再発見

ほぼ全ての鑑賞者が、芸術作品が珠洲の特徴的なことが記憶に残るためのきっかけになったと考えている。記憶に残ったことは、自然景観(海や山)を挙げる人が多かった。鑑賞者の半数は、芸術祭以外の観光拠点も訪れている。

また、市民の 32%が珠洲の良さを再認識、再発見できたと感じており、35%が珠洲への自信や誇りが高まったと感じている。芸術祭を鑑賞することによる地域の魅力への気づきや、来訪者との交流、メディアに取り上げられたことによる魅力の再認識があったと思われる。

効果２　交流の促進、新たな人のつながりに関する効果

① 全国から集まった鑑賞者、サポーター、市民が交流

芸術祭開催を通じて、1,156 人の市民ボランティア、88 人の市外からのサポーターが参加したことにより、ボランティアスタッフ同士の交流が生まれた。ただし、今回の芸術祭はコロナ禍での開催であり、第 1 回芸術祭と比べ市外サポーターの参加は少なかった。

市民の半数は芸術祭を鑑賞しており参加率が高い。鑑賞者のうち、芸術祭スタッフとコミュニケーションした人は 86%であり、鑑賞者、サポーター(スタッフ)、市民の交流機会が多く生まれたと考えられる。

② 新たな人と人のつながりが創出された

芸術祭を通じて新しい知り合いが生まれた市民は 18%(第 1 回芸術祭は 26%)であり、知り合いになった相手は、市民が 55%、ボランティアが 29%、観光客が 20%、アーティストが 28%である。

コロナ禍での開催であり、第 1 回芸術祭と比べて知り合いが生まれた市民の割合は低いものの、通常の市民生活では生まれにくい人と人のつながりが創出されているといえる。

③ 市外の人が珠洲市に興味を持つきっかけとなった

第 1 回芸術祭の開催により、珠洲市の観光客が継続的に増えたと思う市民は約 5 割、珠洲市に関心のある人や定期的に訪れる人が増えたと思う市民は約 4 割、珠洲市の PR 効果が継続的にあったと思う市民は約 6 割であり、芸術祭の開催が交流人口や関係人口創出に継続的な効果を生んでいると感じている市民の割合が高い。

また、第 1 回芸術祭を鑑賞した人のうち、鑑賞後に珠洲市への関心が高まった人は 9 割、

珠洲市を訪れる機会が増えた人（珠洲市民以外）が 46%、珠洲市に知り合いが増えた人は約 3 割であり、交流人口や関係人口創出につながっている。

効果３　交流人口の増加

① 芸術祭開催により観光入込客が増加

芸術祭開催期間中（9～10 月）の市内観光拠点における入込客数は 18 万 8 千人であり、コロナ禍前の R1 同月比で 3 万 7 千人（▲21%）の減少であるが、同じくコロナ禍の R2 と比べ増加している。

市内の宿泊者数は 1 万 2 千人であり、コロナ禍前の R1 同月比で 3 百人（▲2%）の減少である。コロナ禍の影響で旅館の宿泊が減り、キャンプ場の宿泊が増えている。宿泊した鑑賞者のうち、珠洲市で宿泊した人は 63%であり、輪島市、能登町、七尾市、金沢市等広域での宿泊がみられた。

② 道の駅の入込客、売上が増加

道の駅（市内 3 施設）における芸術祭開催期間中（9～10 月）の変化をみると、入込客数は 3 万 8 千人であり、コロナ禍前の R1 同月比で 2 万 1 千人（▲35%）の減少、売上は 4 千 3 百万円であり、R1 同月比で 3 百万円（+8%）の増加である。

芸術祭開催効果により、同じくコロナ禍の R2 と比べ入込、売上の増加効果が見られており、特に道の駅すずなりはコロナ禍前の R1 と比べても入込、売上ともに大きく増加している。

効果４　交流人口増加に伴う経済効果

① 経済波及効果は 4 億 3 千万円

作品鑑賞者数 48,973 人を基に、消費を伴わない高校生以下の人数を除き、一人あたりの消費額を乗じることで直接効果（消費額）を算出している。

直接効果は 3 億 4 千 1 百万円であり、波及効果に関しては県内事例等を参考に直接効果の 0.25 倍と仮定し 8 千 5 百万円と推計している。直接効果と間接効果を合わせた経済波及効果は 4 億 2 千 6 百万円となる。

② 市内経済への効果もみられる

芸術祭事業費における市内業者への発注額は約 7 千百万円である。仕事で芸術祭に携わった市民は約 6%であり、市民の約 15%は経済効果を実感している等、市内経済活性化効果もみられる。

４－(3)　４年間の経済効果・波及効果まとめ

2018 年から 2021 年の間まで、それぞれの市内経済効果を算出。

4 年間の経済効果は約 5 億 7 千万円となっている。

（年度別の推移）

年度	市内経済効果	県内波及効果
2018 年度	0.94 億円	－
2019 年度	0.27 億円	－
2020 年度	0.15 億円	－
2021 年度	4.26 億円	8.06 億円
合計	5.62 億円	8.06 億円

※県内波及効果は開催年（2021 年）のみ算出

４－(4)　移住者の推移（移住相談窓口で把握分）

過去 10 年間を含めた移住者の推移を見ると、芸術祭開催前（2012～2016 年度）と芸術祭開催後（2017～2021 年度）それぞれ 5 年間の累計を比較すると、約 2.0 倍の増となっている。

（年度別推移）

開催前	移住者	開催後	移住者
2012 年度	18 人	2017 年度	42 人
2013 年度	20 人	2018 年度	48 人
2014 年度	26 人	2019 年度	42 人
2015 年度	41 人	2020 年度	51 人
2016 年度	30 人	2021 年度	86 人
計	135 人	計	269 人

芸術祭開催前 （2012～2016 年度）	芸術祭開催後 （2017～2021 年度）	比較
135 人	269 人	約 2.0 倍

●総　括

芸術祭の開催目的である、①珠洲の魅力を広く伝える、②市民が珠洲の潜在力を再認識し自信と誇りを持つ、③全国から集まった来場者、サポーター、市民が交流し新たなつながりが生まれるに関しては、特に、交流の面では、コロナ禍での制限で、交流機会が減少したことにより、会期年での効果は少なかった。しかしながら、前回と比較しても、サポートスズの設立により、市内の交流活動をはじめとした取組の効果は大きいと考えられる。

前回の芸術祭での主な課題とし、①交通アクセス、②食の提供、③宿泊施設、3つがあげられる。前回と比較して、特に、②食の提供に関しては、食事する場所が少ないことから、能登すずなりが中心となり、地元の食材を使用した「スズ弁」を開発し提供するなど効果は大きかった。また、食プロジェクトとして、各作品会場で弁当を販売するなど今後の展開にも期待したい。また、宿泊では、民間でゲストハウス等を開設するなど、新たな取り組みも芽生えてきた。

しかしながら、交通アクセスといった点では、特に、駐車場不足の解消などの対策は引き続き考える必要がある。

	課題に対する取組内容
①交通	(新)「お宿送迎バス」の運行 (継)特急バスを増設(臨時便) (継)「すずアートバス」の運行 (継)駐車場対策 (継)レンタサイクル　など
②食の提供	(新)能登すずなりを中心に、「スズ弁」を開発 (新)食プロジェクトとして、主な作品会場で弁当を販売 (新)市内お食事処 MAP(珠洲商工会議所) (継)「まつり御膳」の提供　など
③宿泊施設	(新)ゲストハウスの開設(民間)

※(新):2020＋新たな取組　(継)前回芸術祭から継続した取組

アンケート結果から、芸術祭の継続開催に関しては、「開催しても良い」と答えた方が46%、「開催しない方がよい」が10．4%、「どちらでもよい」が43．5%との結果であったことから、次回芸術祭については前向きに検討していく。

一方、開催前の説明が不十分だったと感じる市民が半数を超え、開催期間中の感想として交通の状況に対する不満が多い等、課題の把握もできた。

経済効果として一定の効果はみられるものの、芸術祭を訪れ宿泊した人のうち珠洲市で宿泊した人は約 6 割である。今回の調査では宿泊客の方が消費額が大きいことが解っており、

市内で宿泊する比率を上げることが重要である。

また、移住・定住者の推移から、過去 10 年間を含めた推移を見ると、第1回芸術祭開催後の5年間（2017～2021 年度）では、269 人の方が移住しており、開催前の5年間（2012～2016 年度）と比較すると約 2.0 倍の移住者が増えたことになり、引き続き注目していきたい。

このように、芸術祭は芸術鑑賞という直接の効果や観光客（鑑賞者）に対する芸術サービスの提供だけではなく、芸術祭以外の場である店舗やボランティア活動を通して、市民、開催関係者、来場者の交流を創出した。また市民同士が交流する機会が創られており、地域内の交流や関係性の再構築にも繋がっていると考えられる。

こうした反面、芸術祭の説明が不足していることが指摘されるなど、「開催期間中以外での活動」が見えにくいと考えられる。芸術祭そのもののイメージはあるものの、具体的にどのような活動内容なのかしっかりと情報を発信していくことが求められる。また、市民が参加しやすいよう地区ごとに活動拠点を設けながら、誰もが気軽に参加しやすい状況を創出していくことが必要である。

3 年に 1 度の機会と捉えるのではなく、芸術祭が日常的活動であり、珠洲市民にとっての日常に芸術があるという状態に変化させていくことが望ましい。

以上、芸術祭で高まった珠洲の人と人とのつながりを活かし、総合的な政策として継続的に取り組むことにより、長期的な目標である「珠洲の魅力を高め、若い人を惹きつけ、移住・定住につなげる」ことが実現されると考えられる。

５　常設作品及び今後の事業展開等について

奥能登国際芸術祭 2017 からは、9 組 12 作品を常設作品として維持、活用してきた。

2020＋から、新たに13組6作品を追加し、計22組18作品として有効活用していく。

スズ・シアター・ミュージアムについては、本市の大きな観光資源としてツアー等の誘客促進を図るため、観光宣伝等を強化しながら、ミュージアムを拠点とした常設作品や観光施設等へも誘導しながら、通過型から滞在型へ事業展開していきたい。また、所管についても市教育委員会へ移行し、地域住民やサポートスズなどで組織する「運営員会」、企画や展示内容等を検討する「総合企画委員会」を設置し、相互連携を強化しながら運営管理していくこととしている。

■常設作品一覧

（2017 年から）

No.	作家名	国	作品名	場所
1	塩田千春	日本 /ドイツ	時を運ぶ船	大谷地区 （旧清水保育所）
2	さわひらき	日本 /イギリス	「幻想考」 ※2020＋リニューアル	日置地区 （旧日置公民館）
3	リュウ・ジャンファ （刘建华）	中国	漂移する風景	蛸島地区 （珠洲焼資料館）
4	トビアス・ レーベルガー	ドイツ	Something Else is Possible/なにか他にできる	蛸島地区 （旧蛸島駅周辺）
5	ひびのこづえ	日本	スズズカ ※2020＋リニューアル	正院地区 （旧飯塚保育所）
6	金沢美術工芸大学アートプロジェクトチーム「スズプロ」	日本	いのりを漕ぐ ※2020＋リニューアル	飯田地区 （旧八木邸）
7	河口龍夫	日本	小さい忘れもの美術館	飯田地区 （旧飯田駅）
8	ラックス・メディア・ コレクティブ	インド	うつしみ	上戸地区 （旧上戸駅）
9	アレクサンドル・ コンスタンチーノフ	ロシア	珠洲海道五十三次	正院、珠洲川尻、能登洲崎、笹波口

9組12作品

（2020＋から新規に追加）

No.	作家名	国	作品名	場所
1	南条嘉毅 ほか７名	日本	スズ・シアター・ミュージアム 「光の方舟」	大谷地区 （旧西部小学校）
2	カールステン・ ニコライ	ドイツ	Autonomo/図書室	三崎地区 （旧粟津保育所）

3	山本　基	日本	記憶への回廊	三崎地区 （旧小泊保育所）
4	大岩オスカール	ブラジル/アメリカ	植木鉢	正院地区 （旧正院駅）
5	中島伽耶子	日本	あかるい家 Bright house	正院地区 （旧飯塚の事務所）
6	浅葉克己	日本	石の卓球台第３号	飯田地区 （さいはてのキャバレー）

13組6作品

（常設作品まとめ）

	屋内作品	屋外作品	合計
2017	5組5作品	4組7作品	9組12作品
2020＋	11組4作品	2組2作品	13組　6作品
合計	16組9作品	6組9作品	22組18作品

▼これらの作品については、今後も常設展示に向けてメンテナンス等の留意点を確認するとともに不慮の事故に備えて動産保険・施設賠償保険に加入。

６　次回に向けて

第２回目となった奥能登国際芸術祭 2020＋。

これまでも、芸術祭を通して、珠洲市の魅力を高め、さらに移住・定住につなげること、市民の皆様には、あらためて地域の良さを実感し、愛着や誇りを高め、珠洲市の未来に希望を感じる機会とする、といったことが何よりも重要であるとの基本理念のもと、芸術祭を展開してきた。コロナ禍にも関わらず、多くの来場者を迎え、会期中の市内は賑わいと活気に溢れるとともに、その模様は連日、新聞やテレビといったマスコミに数多く取り上げられた。

今回の芸術祭は、特に新型コロナウイルスとの闘いでもあった。１年延期を余儀なくされた間、感染対策を万全に講じること。感染の拡大を防ぐこと。万が一の場合も想定しながら、コロナ対策に注力してきた。来場者の方には、消毒、検温、問診、リストバンドの着用等といったご不便をおかけしたことかもしれません。しかしながら、この芸術祭で導入した仕組み（システム）、いわゆる「奥能登方式」が、他の芸術祭でも取り入れられるなど、徹底した感染防止対策が、ご来場いただいた皆さんのご協力により評価を得ることができたと感じている。

また、コロナ禍による県内外、海外からの移動規制などから、ボランティアやサポーターの受け入れを制限した。大蔵ざらえプロジェクト、作品制作・撤去、会期中の受付等に関しては、サポートスズをはじめ、地域住民、企業サポーター、市職員などの協力が必要不可欠であり、文字どおり「市民参加型の芸術祭」であったと感じている。２回目ということもあり、芸術祭自体のイメージは市民へも浸透してきたが、住民参加といった面では大きな余地が残されている。より多くの市民が参画し、市外からのサポーターとの協働により取り組んでいく体制を構築していかなければならない。

今回の芸術祭も、交通アクセスや食事提供、宿泊などの面をはじめとして、受け入れ態勢における課題もあった。

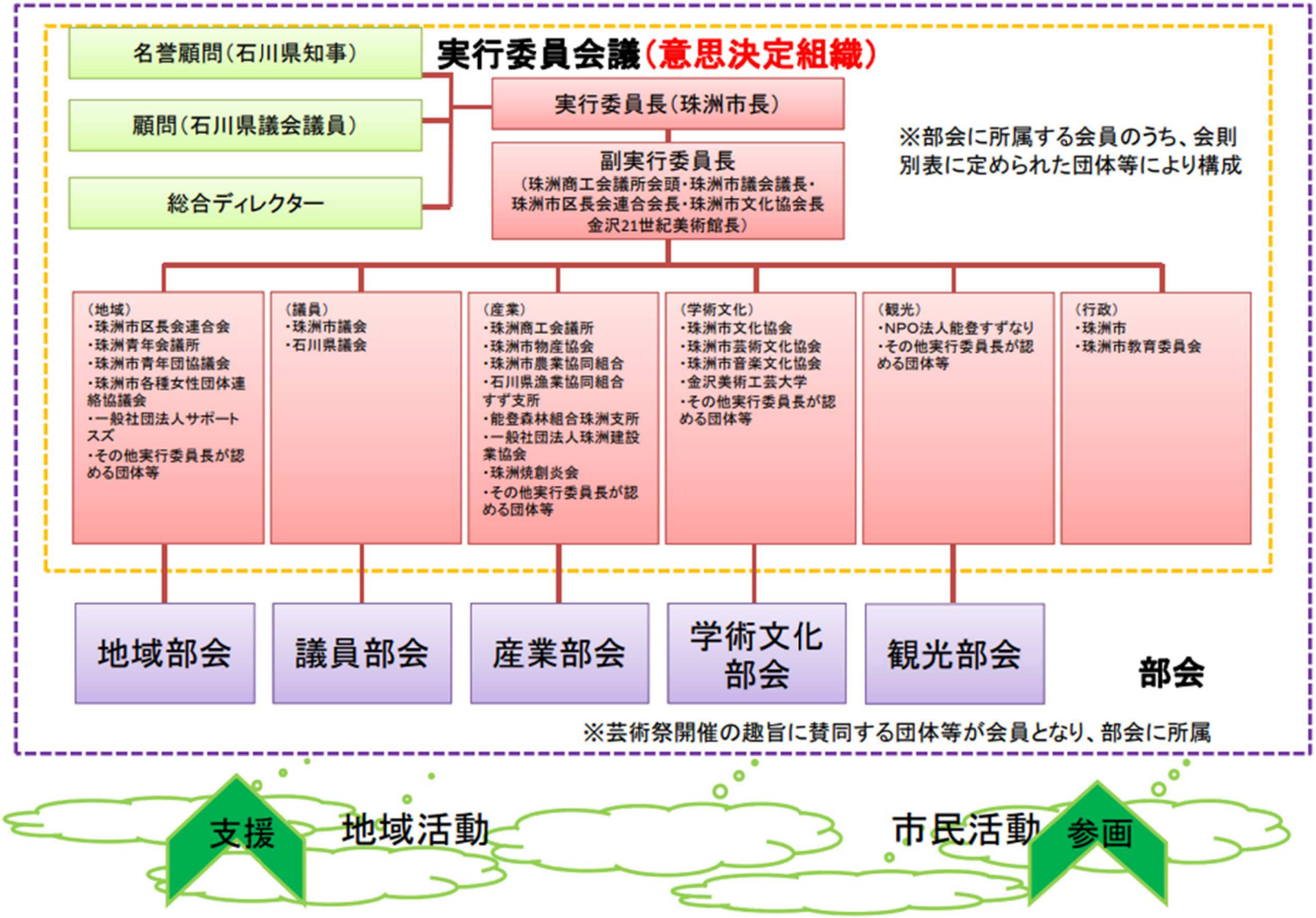
これらの諸課題への対応に加えて、一層のサポーターの確保や事務局体制も含めた運営体制の充実を図るとともに、安定的な開催に向けた外部からの資金調達や支援拡大などに取り組んでいく必要がある。

2017 年第１回より、トリエンナーレ方式での開催を基本方針としてきたことから、開催計画では次回開催は 2023 年となる。一方で開催までの準備期間が短いことからも早急な対応が求められる。また、2023 年には、石川県で「第 38 回国民文化祭」が開催されることから、誘客や情報発信など連携しながら相乗効果を目指していきたい。

過去2回の芸術祭やコロナ禍で培った経験をもとに、さらに新たに生まれたつながりを活かし、さいはての地から、人の流れ、時代の流れを変えていく新たな「運動」としての奥能登国際芸術祭の開催を目指し、次回開催に向け取り組んでいきたい。

資 料 編

奥能登国際芸術祭実行委員会組織図



（組織図）

奥能登国際芸術祭実行委員名簿

（令和3年10月1日現在）

役職	所属団体名	職名	氏名	備考
名誉顧問		石川県知事	谷本　正憲	
顧問		石川県議会議員	平蔵　豊志	
総合ディレクター			北川　フラム	
実行委員長		珠洲市長	泉谷　満寿裕	
副実行委員長	金沢21世紀美術館	館長	長谷川　祐子	
副実行委員長	珠洲市議会	議長	寺井　秀樹	(兼)議員部会長
副実行委員長	珠洲商工会議所	会頭	刀祢　秀一	
副実行委員長	珠洲市文化協会	会長	瀬戸　克彦	
副実行委員長	珠洲市区長会連合会	会長	泉谷　信七	(兼)地域部会長
産業部会長	珠洲商工会議所	常任相談役	泉谷　信七	
学術文化部会長	金沢美術工芸大学	准教授	芝山　昌也	
観光部会長	特定非営利活動法人能登すずなり	理事長	重政　靖之	
実行委員	珠洲市議会総務教育常任委員会	委員長	中板　秀一郎	
実行委員	珠洲市議会産業厚生常任委員会	委員長	向山　忠秀	
実行委員	珠洲市	副市長	橋本　良助	
実行委員	珠洲市教育委員会	教育長	吉木　充弘	
実行委員	珠洲商工会議所	副会頭	重政　靖之	
実行委員	珠洲商工会議所	副会頭	矢野　好二	
実行委員	珠洲商工会議所	副会頭	安用寺　伯文	
実行委員	珠洲市芸術文化協会	会長	太佐　寿一郎	
実行委員	珠洲市音楽文化協会	会長	南方　治	
実行委員	珠洲市農業協同組合	代表理事組合長	表野　悦夫	
実行委員	石川県漁業協同組合すず支所	支所運営委員長	番匠　栄作	
実行委員	能登森林組合珠洲支所	支所長	春木　正司	
実行委員	一般社団法人珠洲建設業協会	会長	中市　勝也	
実行委員	珠洲市物産協会	会長	藤野　裕之	
実行委員	珠洲焼創炎会	会長	篠原　敬	
実行委員	一般社団法人珠洲青年会議所	理事長	上野　哲司	
実行委員	珠洲市青年団協議会	会長	豊平　慶彦	
実行委員	珠洲市各種女性団体連絡協議会	会長	寺井　順子	
実行委員	一般社団法人サポートスズ	代表理事	南方　治	
監査委員	珠洲市	代表監査委員	田畠　邦章	
監査委員	珠洲市	監査委員	三盃　三千三	

（事務局名簿）　　令和３年10月1日現在

役職	氏名	所属
事務局長	金田　直之	珠洲市企画財政課長（奥能登国際芸術祭推進室長）
事務局次長	袖　良暢	珠洲商工会議所事務局長
事務局員	高林　義信	珠洲市産業振興課長
	岸田　和久	珠洲市観光交流課長
	山口　茂樹	珠洲市教育委員会事務局長
	水上　昌子	珠洲市奥能登国際芸術祭推進室次長
	平野　文雄	珠洲市奥能登国際芸術祭推進室芸術祭推進係長
	灰庭　由美	珠洲市奥能登国際芸術祭推進室主任主事
	長江　健太	珠洲市奥能登国際芸術祭推進室主任主事
	前田　能利	珠洲市奥能登国際芸術祭推進室主事
	小菅　玲奈	珠洲市奥能登国際芸術祭推進室員
	畑仲　洋子	一般財団法人サポートスズ事務局員
	源　和政	珠洲商工会議所振興課長
	野口　宗紀	珠洲商工会議所主事
	龍谷　博行	珠洲商工会議所職員（臨時）
	坪根　史郎	珠洲商工会議所職員（臨時）

1　芸術祭のあゆみ（2018 年度～2021 年度）

（2018 年度）

4 月 1 日	珠洲市企画財政課芸術祭推進係内に奥能登国際芸術祭実行委員会事務局を設置
4 月-	常設作品を活用したツアーバスの受入を本格化
4 月 14 日	サポーター研修「スズサポミーティング」開催
5 月 9 日	「奥能登国際芸術祭 2020」開催に向けた連携会議を設置
5 月 9 日	「スズ弁」の開発及びツアー造成の取組を開始
5 月 25 日	奥能登国際芸術祭実行委員会平成 30 年度第 1 回役員会
6 月 1 日	奥能登国際芸術祭実行委員会平成 30 年度第 1 回総会 ⇒ 「奥能登国際芸術祭 2020」開催を決定
6 月 2 日	トークイベント「珠洲焼の魅力を探る」開催
8 月 9 日	塩田千春　地元サポーターとの交流会開催
7 月 23-8 月 3 日	「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ 2018」スタッフ研修
8 月 14-16 日	お盆期間限定　屋内作品一般公開
8 月 20-27 日	「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ 2018」スタッフ研修
8 月 29-31 日	「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ 2018」実行委員長ほか事務局視察
9 月 1 日	奥能登国際芸術祭実行委員会平成 30 年度第 2 回役員会
9 月 2-3 日	「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ 2018」地域サポーター視察
9 月 6-7 日	「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ 2018」会議所観光・商業部会視察
9 月 11-10 月 30 日	候補作家の先行招致
9 月 12-18 日	「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ 2018」スタッフ研修
9 月 22-10 月 8 日	秋の期間限定　屋内作品一般公開　※土日祝のみ
9 月 22-10 月 8 日	ガイド付き作品鑑賞バス「すずバス」運行　※土日のみ
9 月 22-10 月 21 日	ひびのこづえ×スズズカ 2018 秋開催　※土日祝のみ
10 月 2 日	第 1 回奥能登フラム塾開催　テーマ「海の幸」
12 月 4 日	第 2 回奥能登フラム塾開催　テーマ「珠洲のキリコ祭り」
12 月 8 日	佐藤允彦　さいはての「ジャズナイト」開催
1 月 8 日	奥能登国際芸術祭実行委員会平成 30 年度第 3 回役員会
2 月 5 日	奥能登国際芸術祭実行委員会平成 30 年度第 4 回役員会
2 月 24 日	珠洲の食・アートを満喫「まるかじりバスツアー」開催 （作品鑑賞×食祭珠洲まるかじり）
3 月 7 日	奥能登国際芸術祭サポート組織「一般社団法人サポートスズ」設立
3 月 11 日	金沢 21 世紀美術館、金沢美術工芸大学と連携・協力協定を締結
3 月 21 日	「スズ弁」完成お披露目会開催
3 月 21 日	奥能登国際芸術祭実行委員会平成 30 年度第 2 回総会

⇒ 「奥能登国際芸術祭 2020」会期を決定
（会期：2020 年 9 月 5 日-10 月 25 日）

3 月 21 日	角田光代 さいはての“Cabaret Talk”『創作の秘密』開催
3 月 21-24 日	「NPO 法人瀬戸内こえびネットワーク」へサポーター研修
（2019 年度）	
4 月 1 日	珠洲市奥能登国際芸術祭推進室を設置
4 月 1 日	奥能登国際芸術祭実行委員会の運営を開始
5 月-	奥能登国際芸術祭実行委員会事務所を旧消防庁舎に移転
6 月 4 日	第 3 回奥能登フラム塾開催 テーマ「能登杜氏」
8 月 6 日	第 4 回奥能登フラム塾開催 テーマ「珪藻土」
8 月 9 日	石川県知事表敬訪問
8 月 29 日	奥能登国際芸術祭実行委員会令和元年度第 1 回役員会
9 月 14 日	「奥能登国際芸術祭 2020」企画公募現地見学会開催
10 月 2-7 日	「瀬戸内国際芸術祭 2019」スタッフ研修
10 月 12-14 日	ひびのこづえ×スズズカ 2019 秋開催
10 月 14 日	ワークショップ「コロコロコレクティブ」開催
10 月 17-31 日	「奥能登国際芸術祭 2020」企画公募を実施（応募件数：142 組 173 点）
10 月 19 日、20 日	「奥能登マイコロ映像祭」開催
10 月 22 日	「石川直樹&森下真樹ディナーショウ！！」開催
10 月 20 日、26 日、27 日	「珠洲焼と芸術祭 アートツアー」開催（作品鑑賞×珠洲焼プロジェクト特別展）
11 月 1-5 日	「瀬戸内国際芸術祭 2019」スタッフ研修
11 月 6-8 日	2019 中国国際輸入博覧会に出展（上海市）
11 月 10 日	山下洋輔 さいはての「ジャズナイト」!!開催
11 月 24 日	「ヨバレ体験」モニターイベント開催
12 月 7 日	奥能登国際芸術祭実行委員会令和元年度第 2 回役員会
12 月 7 日	奥能登フラム塾特別版「さいはての南極会談」開催
1 月 31 日	「ヨバレ体験」モニターイベント開催
2 月 1 日	どやどや楽団 「さいはてのどやどやナイト」開催
2 月 24 日	第 6 回奥能登フラム塾開催 テーマ「食」
2 月 24 日	「食プロジェクト」キックオフ
3 月 8 日	市民 14,000 人でつくる「奥能登国際芸術祭 2020」プロジェクト発表会開催
3 月 8 日	「珠洲の大蔵ざらえ」プロジェクトキックオフ
（2020 年度）	
4 月 14 日	奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 1 回役員会
4 月 16 日	石川県知事表敬訪問 ※コロナで中止
4 月 18 日-	「珠洲の大蔵ざらえ」プロジェクトの民具収集活動を開始
4 月 20 日	「奥能登国際芸術祭 2020」企画発表会＠東京 ※コロナで中止

5 月 7 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 2 回役員会
5 月 15 日　　「奥能登国際芸術祭 2020」企画発表会＠金沢　※コロナで中止
5 月 15 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 1 回総会
⇒ 会期 1 年延期を決定（会期：2021 年 9 月 4 日−10 月 24 日）
6 月 10 日−7 月 3 日　市内 10 地区の区長会へ概要説明及び協力を依頼
8 月 27 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 3 回役員会
9 月 25 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 2 回総会
⇒ 名称を「奥能登国際芸術祭 2020＋」に変更及び新ロゴをお披露目
10 月 23 日　　珠洲市「食プロジェクト」推進委員会を設立
11 月 2−30 日　　市政懇談会において概要説明及び協力を依頼
11 月 10 日　　第 2 回珠洲市「食プロジェクト」推進委員会
1 月 16 日、17 日　　第 1 回「食のフラム塾」　※コロナで中止
2 月 1−25 日　　磯辺行久「偏西風ワークショップ事前学習会」開催（市内 7 小・中学校）
2 月 15 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 4 回役員会
3 月 1−5 日　　磯辺行久「偏西風ワークショップ実証実験」開催（市内 7 小・中学校）
3 月 25 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 2 年度第 3 回総会
⇒ コロナ対策概要を発表
3 月 25 日　　劇場型歴史民俗博物館の名称を「スズ・シアター・ミュージアム」に決定

（2021 年度）
4 月 3 日−　　順次集落説明会開催
4 月 10 日、11 日　　大川友希　作品制作ワークショップ開催
5 月 14 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 1 回役員会
5 月 18 日　　石川県知事表敬訪問　⇒ コロナで延期（7 月 7 日）
5 月 28 日　　「奥能登国際芸術祭 2020＋」企画発表会
⇒ コロナで延期（7 月 15 日）
6 月 5 日、6 日　　キジマ真紀　作品制作ワークショップ開催
6 月 10 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 2 回役員会
7 月 1 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 3 回役員会
7 月 6−8 日　　磯辺行久「海流ワークショップ事前学習会」開催（市内 4 小学校）
7 月 7 日　　石川県知事表敬訪問
7 月 15 日　　「奥能登国際芸術祭 2020＋」企画発表会　※オンラインで全国配信
7 月 15 日　　「スズ・シアター・ミュージアム」設立シンポジウム開催
7 月 15 日　　「奥能登国際芸術祭 2020＋」作品鑑賞パスポートの発売を開始
8 月 8 日　　第 3 回珠洲市「食プロジェクト」推進委員会
8 月 8 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 4 回役員会
⇒ コロナの状況を踏まえた開催方針及び木曜休館を決定
8 月 26 日　　第 4 回珠洲市「食プロジェクト」推進委員会
8 月 26 日　　奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 5 回役員会

⇒ 作品の限定公開（9 月 4 日～12 日）及びパスポートの前売り期間の延長を決定

9 月 1 日	「スズ・シアター・ミュージアム」関係者内覧会開催
9 月 3 日、4 日	プレスツアー開催
9 月 4 日	「奥能登国際芸術祭 2020＋」開幕式
9 月 4 日	オープニングツアー開催
9 月 11 日、12 日	ひびのこづえ×スズズカ 2021　パフォーマンス「Come and Go」開催
9 月 13 日	奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 6 回役員会 ⇒ 作品の限定公開延長を決定（-9 月 30 日）
9 月 28 日	奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 7 回役員会 ⇒ 会期の延長を決定（-11 月 5 日）
9 月 30 日	アメリカ大使館総領事視察
10 月 1 日	全作品公開
10 月 6 日	オーストラリア大使館視察
10 月 8 日	「奥能登国際芸術祭 2020＋」記念公演 「寿受狂言の会」開催
10 月 9 日、10 日	ひびのこづえ×スズズカ 2021　パフォーマンス「Piece to Peace」「Come and Go」開催
11 月 5 日	「奥能登国際芸術祭 2020＋」閉幕式
2 月 22 日	スズ・シアター・ミュージアム設立総会
3 月 22 日	奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度第 7 回役員会
3 月 28 日	奥能登国際芸術祭実行委員会令和 3 年度総会

奥能登国際芸術祭 2020＋作品一覧

（46 作品 53 組）

地区	NO.	施設名/場所名	作家名	作品・PJ 名	
大谷	1	旧清水保育所	塩田千春	時を運ぶ船	※1
	2	スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」	南条嘉毅	余光の海	※2
			OBI	ドリフターズ	
			大川友希	待ち合わせの森	
			橋本雅也	母音/海鳴り	
			竹中美幸	覗いて、 眺めて、	
			三宅砂織	The missing shade59-1/Seascape Suzu/Untitled	
			久野彩子	静かに佇む	
			世界土協会	soilstory・つちがたり	
			阿部海太郎	―	
	3	鰐崎海岸	キムスージャ	＜息づかい：珠洲＞2021	
	4	笹波海岸	スポード・グプタ	私のこと考えて	
日置	5	木ノ浦ビレッジ	蓮沼昌宏	きのうら、きのうら	
	6	木ノ浦海岸	原広司	Identification － 同一視すること	
	7	旧日置小中学校グラウンド	トゥ・ウィチェン［涂維政］	クジラ伝説遺跡	
	8	旧日置公民館	さわひらき	幻想考	※1
	9	狼煙の舟小屋	キジマ真紀	ornaments house	
三崎	10	旧粟津保育所	カールステン・ニコライ	Autonomo／図書室	※2
	11	新出製材所	Noto Aemono Project	海をのぞむ製材所	
	12	旧小泊保育所	山本基	記憶への回廊	※2
蛸島	13	鉢ヶ崎海岸	フェルナンド・フォグリノ	私たちの乗りもの（アース・スタンピング・マシーン）	
	14	珠洲焼資料館	カン・タムラ	「珠洲（16mm）」 「珠洲（デジタル）」	
	15	珠洲焼資料館	リュウ・ジャンファ［刘建华］	漂移する風景	※1
	16	旧高砂湯	青木野枝	mesocylone/蛸島	
	17	旧島崎家	田中信行	連続する生命	
	18	旧蛸島駅周辺	トビアス・レーベルガー	SomethingEliseisPossible/なにか他にできる	※1
正院	19	旧漁具倉庫	デイヴィッド・スプリグス	第一波	
	20	旧正院駅	大岩オスカール	植木鉢	※2
	21	旧喫茶アンアン	クレア・ヒーリー＆ショーン・コーデイロ	ごめんね素直じゃなくて	
	22	旧大工倉庫	盛圭太	海図	
	23	旧瓦工場	ムン・キョンウォン＆チョン・ジュンホ	再会	

地区	NO.	施設名/場所名	作家名	作品・PJ 名	
正院	24	飯塚保育所	ひびのこづえ	スズズカ Come and Go	※1
	25	飯塚の旧事務所	中島伽耶子	あかるい家 Bright house	※2
直	26	本江寺の倉庫	尾花賢一	水平線のナミコ	
	27	旧珠洲駅 （道の駅すずなり）	村上 慧	移住生活の交易場	
	28	珠洲市民図書館	磯辺行久	「偏西風」「対馬海流・リマン海流」	
	29	旧中央図書館	今尾拓真	work with #8（旧珠洲市立中央図書館空調設備）	
飯田	30	旧八木家	金沢美術工芸大学アートプロジェクトチーム［スズプロ］	いのりを漕ぐ/奥能登曼荼羅/いえの木/家に潜る/こめのにわ	※1
	31	スズ交通 待合所２F	中谷ミチコ	すくう、すくう、すくう	
	32	ラポルトすず	力五山	漂流記	
	33	さいはてのキャバレー	浅葉克己	石の卓球台第３号	※2
	34	旧飯田駅	河口龍夫	小さい忘れもの美術館	※1
上戸	35	北方の倉庫	石川直樹	奥能登半島/珠洲全景	
	36	旧上戸駅	ラックス･メディア･ コレクティブ	うつしみ	※1
	37	柳田児童公園	シモン・ヴェガ	月うさぎ：ルナクルーザー	
宝立	38	春日野倉庫	佐藤 貢	網の小屋	
	39	旧鵜飼駅	ディラン・カク［郭達麟］	😊	
	40	旧柏原保育所	チェン・シー［陳思］	珠洲のドリームキンダーガーデン	
	41	旧南黒丸駅	サイモン・スターリング	軌間	
若山	42	旧大坊小学校グラウンド	四方謙一	Gravity - この地を見つめる -	
	43	旧上黒丸小中学校	チーム KAMIKURO		
			中瀬康志	上黒丸 座円 循環 曼荼羅 壱	
			宇土ゆかり	ちいさなものがたりがかり	
			土井宏二	更新される森	
			竹川大介+野研	上黒丸 座円 循環 曼荼羅 弐	
			坂巻正美	上黒丸 座円 循環 曼荼羅 参―行雲流水 上黒丸〇―	
	44	吉ヶ池の空き家	カルロス・アモラレス	黒い雲の家	
広域	45	高屋漁港/シーサイド	金氏徹平	tower(SUZU)	
	46	バス停（笹波口、能登洲崎、珠洲川尻、正院）	アレクサンドル・コンスタンチーノフ	珠洲海道五十三次	※1

※1：奥能登国際芸術祭 2017 から常設作品

※2：奥能登国際芸術祭 2020＋から常設作品

「奥能登国際芸術祭 2020+」全作品 MAP

奥能登国際芸術祭 珠洲 スズ SUZU 2020+ OKU-NOTO TRIENNALE

□… 屋外作品　■… 屋内作品　■… 屋外および屋内にある作品

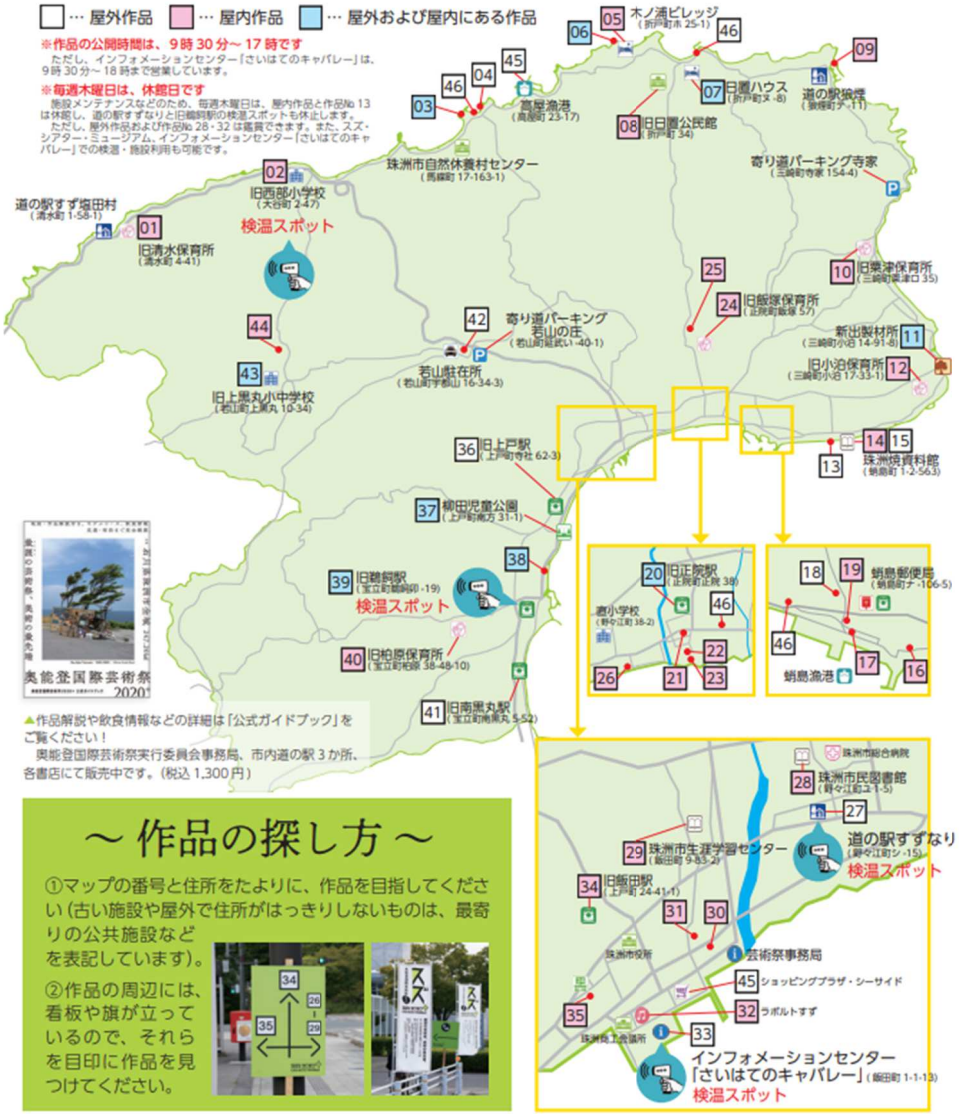
※作品の公開時間は、9時 30 分～ 17 時です

ただし、インフォメーションセンター「さいはてのキャバレー」は、9時 30 分～ 18 時まで営業しています。

※毎週木曜日は、休館日です

施設メンテナンスなどのため、毎週木曜日は、屋内作品と作品№ 13 は休館し、道の駅すずなりと旧飯田駅の検温スポットも休止します。

ただし、屋外作品および作品№ 28・32 は鑑賞できます。また、スズ・シアター・ミュージアム、インフォメーションセンター「さいはてのキャバレー」での検温・施設利用も可能です。



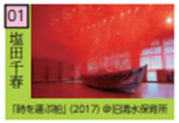
▲作品解説や飲食情報などの詳細は「公式ガイドブック」をご覧ください！

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局、市内道の駅 3 か所、各書店にて販売中です。（税込 1,300 円）

～ 作品の探し方 ～

①マップの番号と住所をたよりに、作品を目指してください（古い施設や屋外で住所がはっきりしないものは、最寄りの公共施設などを表記しています）。

②作品の周辺には、看板や旗が立っているので、それらを目印に作品を見つけてください。

01 塩田千春

『時を運ぶ船』(2017) ©旧清水保育所

02 スズ・シアター・ミュージアム

『光の方舟』©旧西部小学校
『待ち合わせの森』大川友希、『ドリフターズ』OBI、『隠かに行く』久野彩子、『Solstory-つちびたり』世界土協会、『眺めて 眺めて』竹中美幸、『夜光の海』南条嘉毅、『母音／海鳴り』熊本雅也、『The missing shade 59-1』[seascape/Suzu]、[untitled] 三宅砂織

03 キムスージャ

『息づかい／息づかい－旗』©鵜飼海岸

04 スポード・グプタ

『私のこと考えて』©笠波海岸

05 蓮沼昌宏

『きのうも、きのうも』©木ノ浦ビレッジ

06 原広司

『Identification － 問一答すること』©木ノ浦海岸

07 トゥ・ウェイチェン

『クジラ伝説通路』©旧日置小中学校グラウンド

08 さわひらき

『幻想考』©旧日置公民館

09 キジマ真紀

『ornaments house』©狼煙の船小屋

10 カールステン・ニコライ

『Autonomo』©旧粟津保育所

11 Kobi Arcimoto Project

『海をのぞむ製材所』©新出製材所

12 山本基

『記憶への回廊』©旧小泊保育所

13 ブェルナンド・ブォグリノ

『わたしたちの暮り物（アース・スタンピング・マシーン）』©鵜ヶ崎海岸

14 カン・タムラ

『珠洲（16mm）、珠洲（デジタル）』©珠洲焼資料館

15 リュウ・ジャンファ

『漂流する風景』(2017) ©珠洲焼資料館

16 青木野枝

『mesocyclone ／ 蛸島』©旧高砂湯

17 田中信行

『連続する生命』©旧島崎家

18 トビアス・レーベルガー

『Something Else is Possible ／ なにか他にできる』(2017) ©旧鵜飼駅周辺

19 デイヴィッド・スプリグス

『第一波』©旧漁具倉庫

20 大岩オスカール

『絵本鉢』©旧正院駅

21 クレア・ヒューム & ショーン・コーディロ

『ごめんね来客じゃなくて』©珠洲市アンデン

22 盛圭太

『海図』©旧大工倉庫

23 ムン・キョンウォン & チョン・ジュンボ

『再会』©旧瓦工場

24 ひびのこづえ

『スズズカ Come and Go』©白鳥保育所

25 中島伽耶子

『あかるい家 Bright house』©蛸島の石事所

26 尾花賢一

『水平線のナミコ』©本江寺の倉庫

27 村上慧

『移住生活の交易場』©珠洲駅（道の駅すずなり）

28 磯辺行久

『猛西風／対馬海流・リマン海流』©珠洲市民図書館

29 今尾拓真

『Work with #8』(旧珠洲市立中央図書館空調設備) ©旧中央図書館

30 [illegible]

『いのりを運ぐ』2021 ©旧八木家

31 中谷ミチコ

『すくう、すくう、すくう』©スズ交通待合所 2 階

32 力五山

『漂流記』©ラボルトすず

33 浅葉克己

『石の卓球台第 3 号』©さいはてのキャバレー

34 河口龍夫

『小さい忘れもの美術館』(2017) ©旧飯田駅

35 石川直樹

『麻縄登り船／珠洲金表』©北方の倉庫

36 ラックス・メディア・コレクティブ

『うつしみ』(2017) ©旧上戸駅

37 シモン・ヴェガ

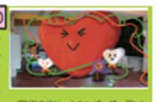
『月うさぎ：ルナークルーザー』©飯田児童公園

38 佐藤賞

『網の小屋』©春日野の蔵

39 ディラン・カク

『[illegible]』©旧鵜飼駅

40 チェン・シー

『珠洲のドリームキンダーガーデン』©白鳥保育所

41 ライモン・スターリング

『軌間』©旧南黒丸駅

42 四方謙一

『Gravity ／ この地を見つめる』©旧大谷小学校グラウンド

43 チーム KAMIKURO

『上黒丸 現代 歴歴 東京歴 表』チーム KAMIKURO 平成歴史
『ないならものたりがかり』チーム KAMIKURO 学士ゆかり
『歴歴これも歴』チーム KAMIKURO 士河宏二
『上黒丸 現代 歴歴 東京歴 元』チーム KAMIKURO 竹川大介＋教授
『上黒丸 現代 歴歴 東京歴 巻 ― 竹雲流水 上黒丸』チーム KAMIKURO 谷巻正美
©全て旧上黒丸小中学校

44 カルロス・アセベス

『黒い雲の家』©きゃ池の空き家

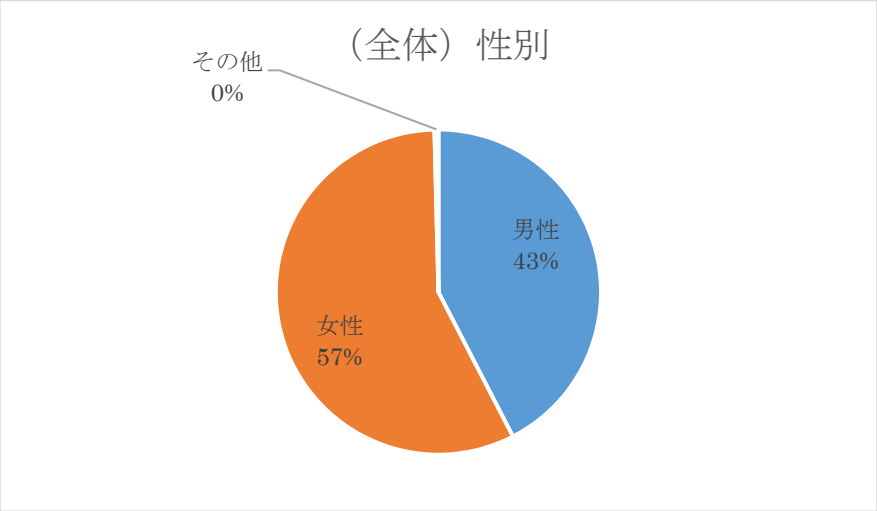
45 金氏徹平

『Tower(SUZU)』©高屋漁、ショッピングプラザシーサイド屋上

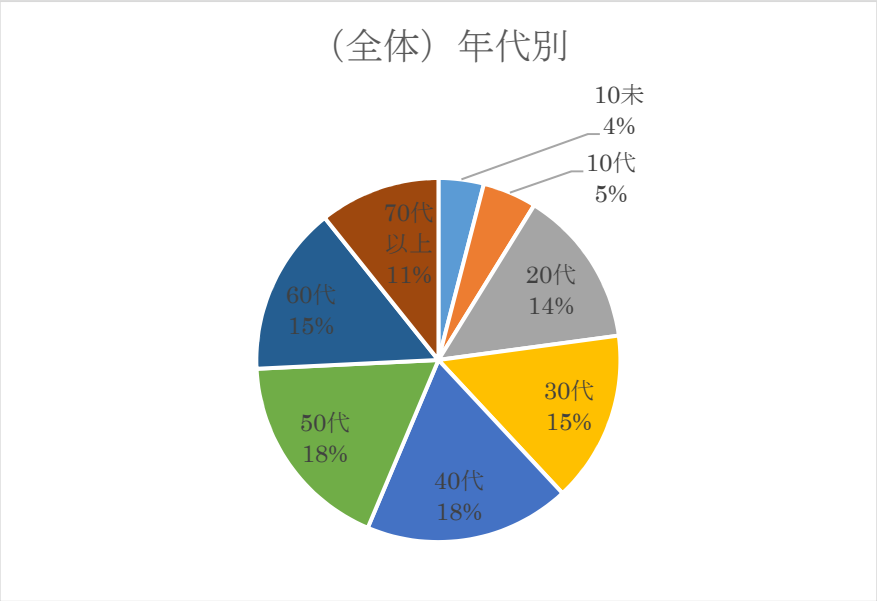
46 フレッチャンドル・アンスタンボール

『珠洲海道五十三次』(2017) ©バス亭（恋貝口、長屋漁港、珠洲川尻、正院）

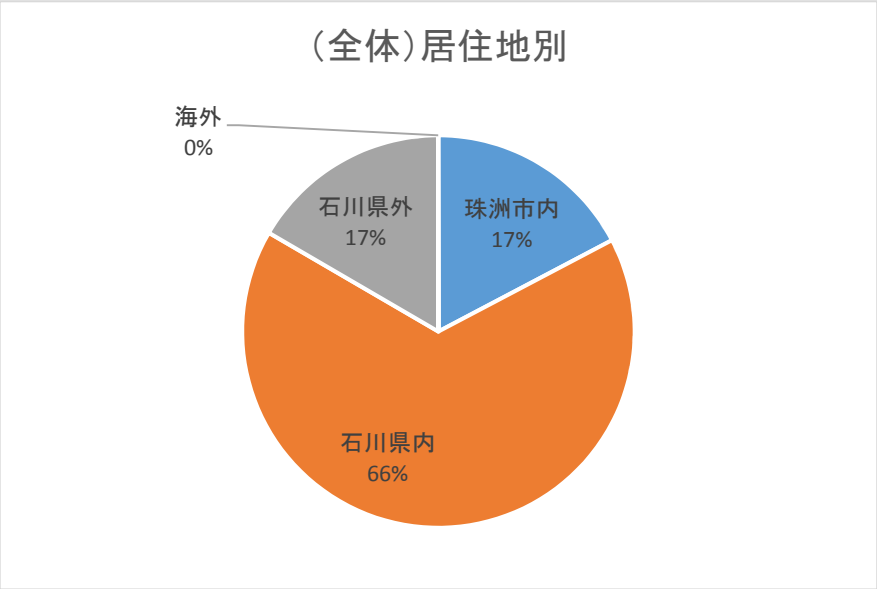
開催結果の概要



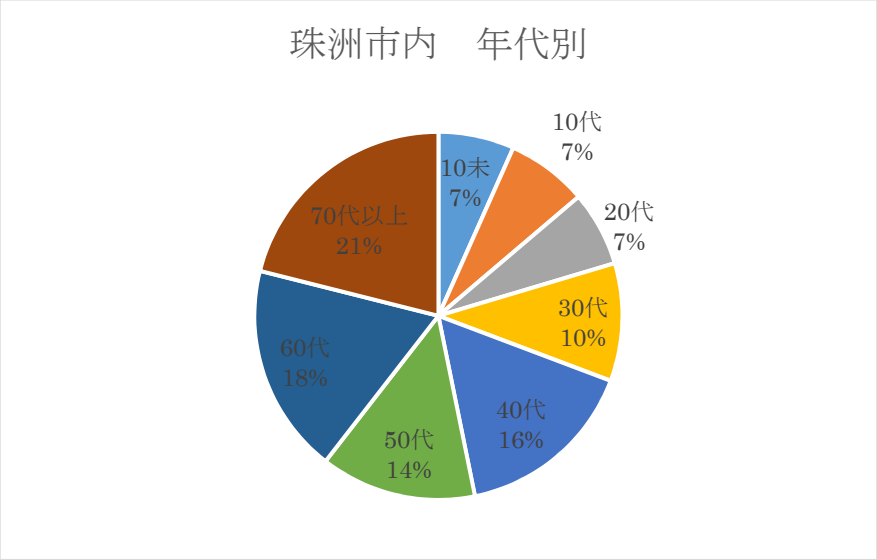
男性	19,470
女性	26,249
その他	178
計	45,897



10 未	1,847
10 代	2,203
20 代	6,440
30 代	6,980
40 代	8,392
50 代	8,214
60 代	6,897
70 代以上	4,927
計	45,900

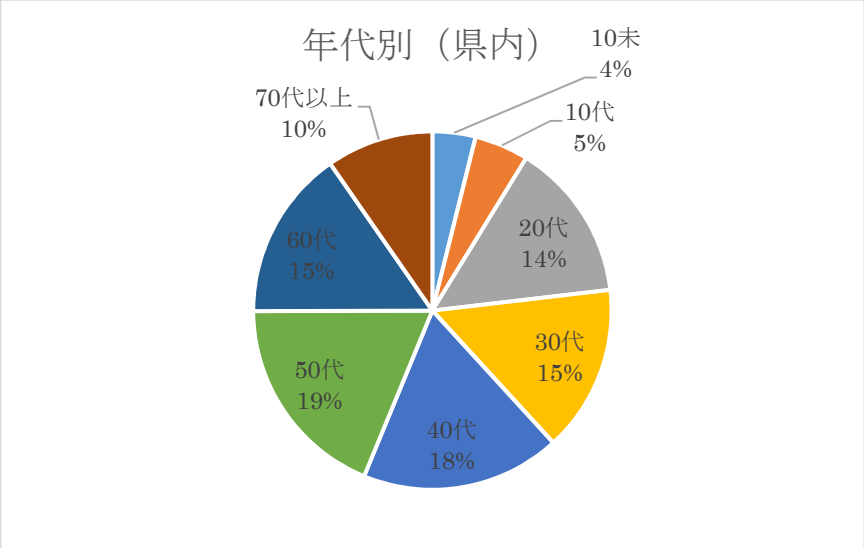


珠洲市内	7,936
石川県内	30,341
石川県外	7,604
海外	18
計	45,899



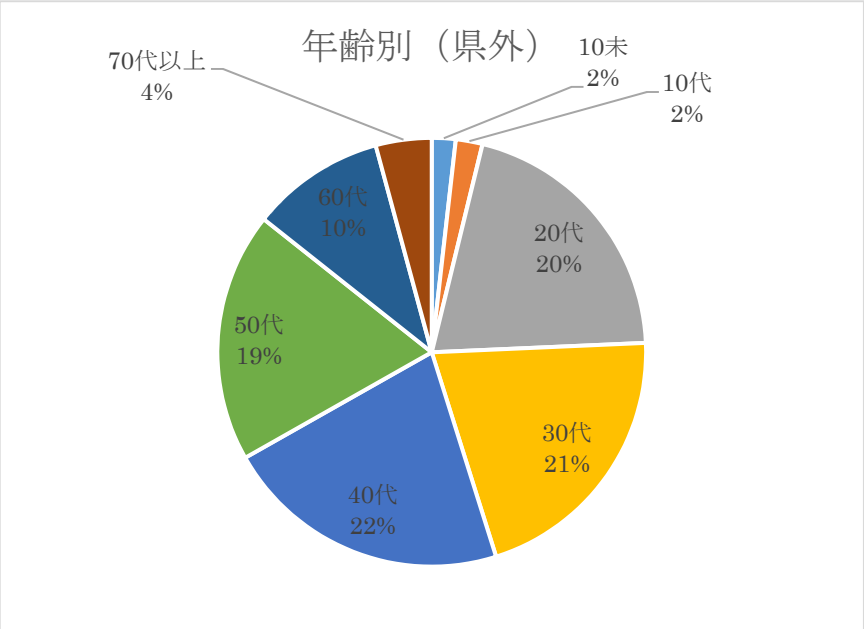
市内

10 未	530
10 代	565
20 代	522
30 代	822
40 代	1,276
50 代	1,087
60 代	1,462
70 代以上	1,672
計	7,936



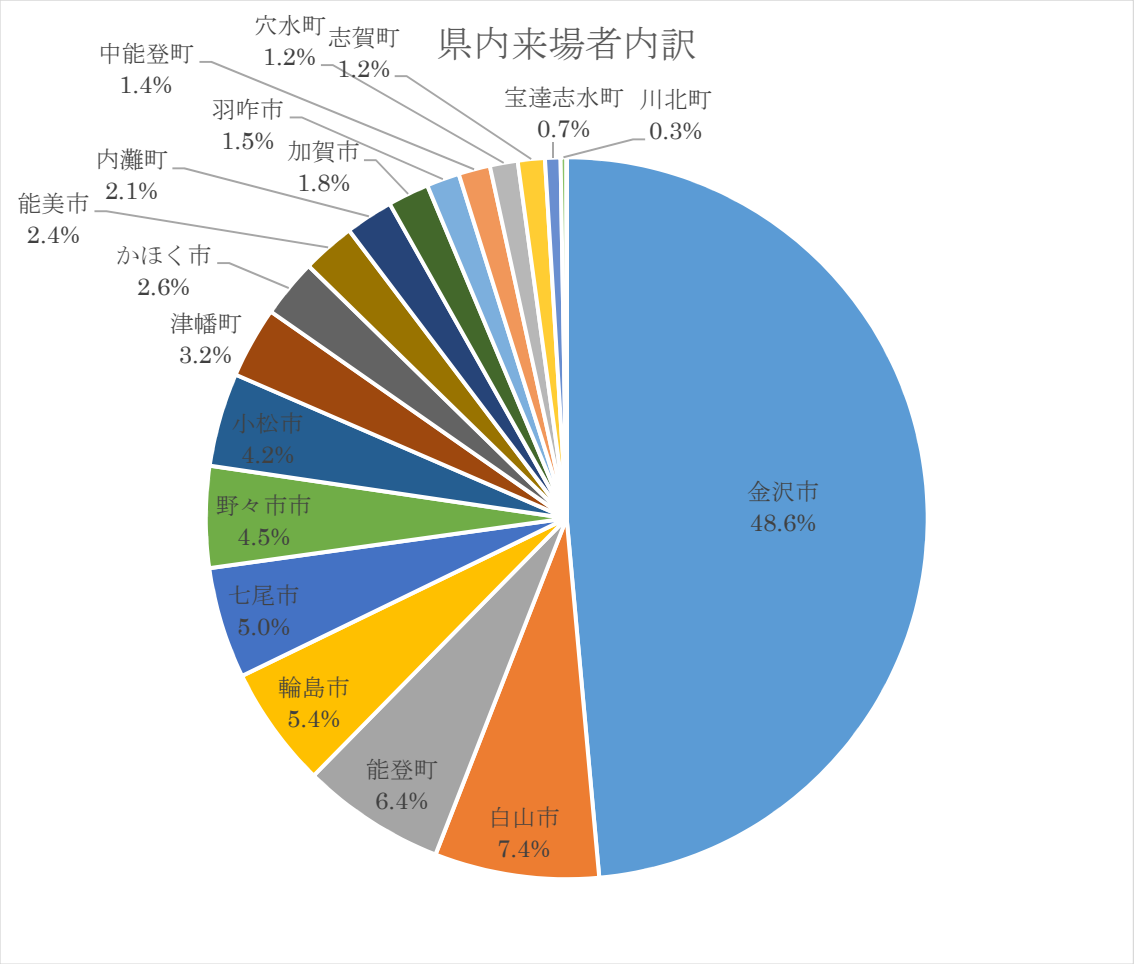
県内

10 未	1,180
10 代	1,485
20 代	4,359
30 代	4,568
40 代	5,467
50 代	5,683
60 代	4,665
70 代以上	2,934
計	30,341

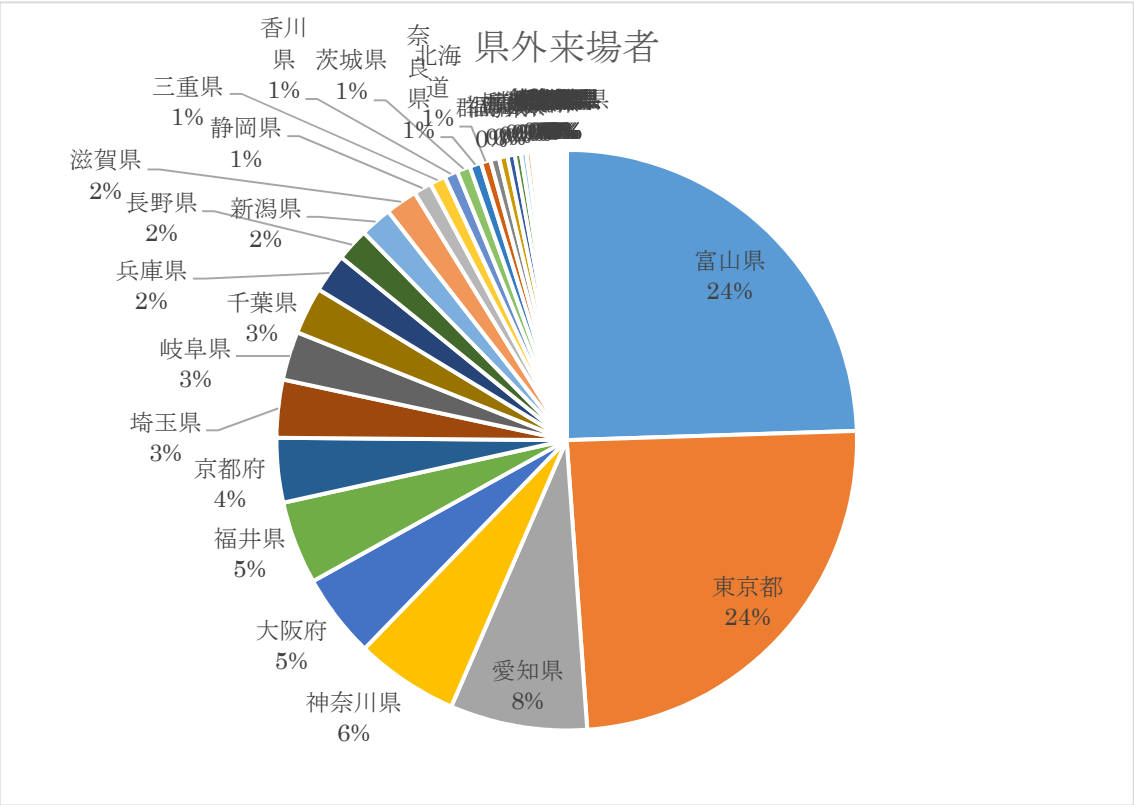


県外

10 未	137
10 代	153
20 代	1,558
30 代	1,585
40 代	1,647
50 代	1,434
60 代	770
70 代以上	320
計	7,604

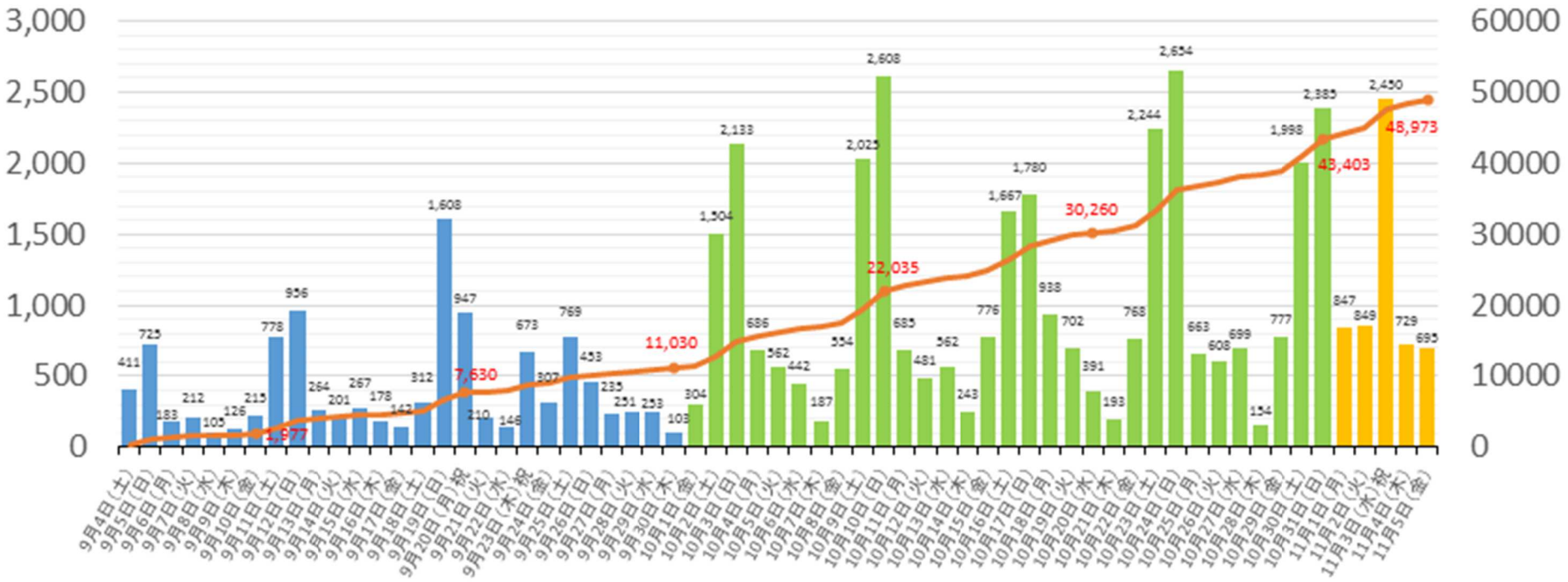


金沢市	14,734	小松市	1,270	羽咋市	448
白山市	2,233	津幡町	968	中能登町	431
能登町	1,955	かほく市	793	穴水町	378
輪島市	1,651	能美市	722	志賀町	366
七尾市	1,512	内灘町	650	宝達志水町	210
野々市市	1,377	加賀市	560	川北町	83



富山県	1,862	香川県	57	秋田県	10
東京都	1,854	茨城県	56	愛媛県	10
愛知県	581	奈良県	49	山形県	7
神奈川県	437	北海道	41	高知県	7
大阪府	355	群馬県	37	鳥取県	6
福井県	351	福岡県	36	岩手県	6
京都府	273	岡山県	31	鹿児島県	5
埼玉県	245	栃木県	26	大分県	4
岐阜県	206	広島県	23	佐賀県	3
千葉県	200	青森県	21	沖縄県	3
兵庫県	164	和歌山県	17	長崎県	2
長野県	139	山梨県	17	山口県	2
新潟県	135	宮城県	15	熊本県	0
滋賀県	135	徳島県	13	宮崎県	0
静岡県	76	福島県	11		
三重県	66	島根県	10		

日別来場者の推移


3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
60000
50000
40000
30000
20000
10000
0
1,977
7,630
11,030
22,035
30,260
43,403
48,973
411
725
183
212
105
126
215
778
956
264
201
267
178
142
312
1,608
947
210
146
673
307
769
453
235
251
253
103
304
1,504
2,133
686
562
442
187
554
2,025
2,608
685
481
562
243
776
1,667
1,780
938
702
391
193
768
2,244
2,654
663
608
699
154
777
1,998
2,385
847
849
2,450
729
695
9月4日(土)
9月5日(日)
9月6日(月)
9月7日(火)
9月8日(水)
9月9日(木)
9月10日(金)
9月11日(土)
9月12日(日)
9月13日(月)
9月14日(火)
9月15日(水)
9月16日(木)
9月17日(金)
9月18日(土)
9月19日(日)
9月20日(月)祝
9月21日(火)
9月22日(水)
9月23日(木)祝
9月24日(金)
9月25日(土)
9月26日(日)
9月27日(月)
9月28日(火)
9月29日(水)
9月30日(木)
10月1日(金)
10月2日(土)
10月3日(日)
10月4日(月)
10月5日(火)
10月6日(水)
10月7日(木)
10月8日(金)
10月9日(土)
10月10日(日)
10月11日(月)
10月12日(火)
10月13日(水)
10月14日(木)
10月15日(金)
10月16日(土)
10月17日(日)
10月18日(月)
10月19日(火)
10月20日(水)
10月21日(木)
10月22日(金)
10月23日(土)
10月24日(日)
10月25日(月)
10月26日(火)
10月27日(水)
10月28日(木)
10月29日(金)
10月30日(土)
10月31日(日)
11月1日(月)
11月2日(火)
11月3日(水)祝
11月4日(木)
11月5日(金)